



~つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ~

大会計画



第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会

目次

第1章 全体概要

1. 大会概要	1
2. 大会の基本構想	2~4
3. 会場配置	5
4. 行事構成	6

第2章 行事計画

1. 式典行事計画	8~20
2. 海上歓迎・放流行事計画	21~28
3. 関連行事計画	29
4. 絵画・習字優秀作品御覧計画	30
5. 歓迎レセプション計画	31

第3章 大会運営計画

1. 実施本部設置計画	33~35
2. 招待者管理計画	36~38
3. 宿泊計画	39
4. 輸送計画	40
5. 駐車場計画	41
6. 交通計画	42
7. 救護計画	43
8. 案内サービス計画	44
9. 映像中継計画	45
10. 会場管理計画	46~49
11. 判定会議設置計画	50~53
12. 荒天時計画	54

第4章 機運醸成計画

1. イベント等計画	56
2. 広報計画	57
3. 作品募集計画	58~59
4. スケジュール	60



第1章

全体概要

全国豊かな海づくり大会は、例年、天皇皇后両陛下の御臨席のもとに開催されていることから、「第43回 全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」においても、天皇皇后両陛下の御臨席を想定し、大会実施計画を作成しています。

また、各行事計画の詳細（進行、演出等）については、変更する場合があります。

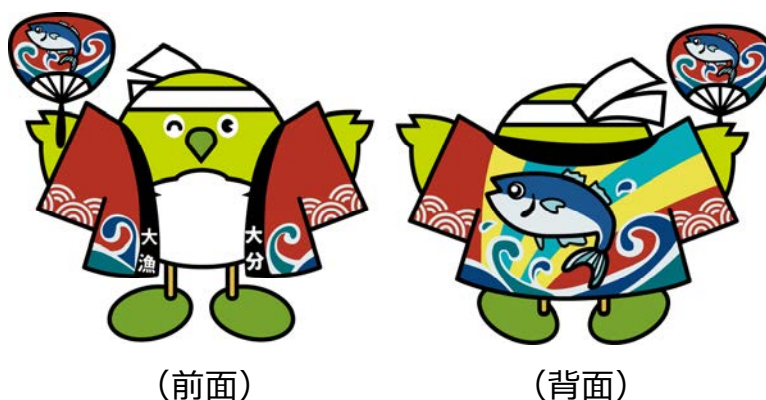
- **大会名称** 第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～
- **主催** 豊かな海づくり大会推進委員会（※）
第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会
- **開催時期** 令和6年11月9日（土）・10日（日）
- **開催場所** 【式典行事】 iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ（大分市）
【海上歓迎・放流行事】 別府港第4埠頭（別府市）
【関連行事】
 - ・豊かな海づくりフェスタ（仮称）大分市（祝祭の広場、大分駅北口駅前広場）
 - ・サテライト会場（2会場） ①佐伯市（松浦漁港）
②中津市（小祝漁港）
- **招待者数** 式典行事 約1,000名
海上歓迎・放流行事 約500名
- **大会テーマ** つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ
- **大会ロゴマーク・コスチュームデザイン**

「第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」の開催趣旨にふさわしいデザインを公募により決定

<ロゴマーク>



<コスチュームデザイン>



大分県応援団「鳥」「めじろん」

めじろんは、平成16年に、第63回国民体育大会「チャレンジ！おおいた国体」、第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ！おおいた大会」のマスコットとして、大分県の県鳥である「メジロ」をモチーフにデザインされたキャラクターです。
大会終了後、大分県応援団「鳥」に就任し、県行政の広報・PR活動に活躍しています。



※ 豊かな海づくり大会推進委員会
大会運営のために中央に設置されている委員会。最高顧問は衆議院議長、会長は全国漁業協同組合連合会代表理事会長が務めている。

大分県の水産業

大分県は、九州の北東部に位置し、豊予海峡を境として北は瀬戸内海、南は豊後水道に面し、九州本土最高峰の中岳を含むじゅう連山や、県内全域で温泉が満喫できる、源泉数・湧出量ともに日本一の「おんせん県」であるなど、豊かな自然環境に恵まれています。

瀬戸内海沿岸は、広大な干潟を有する豊前海や一級河川の大野川と大分川が流れ込む別府湾や豊後灘など多様な漁場で構成され、小型底びき網や刺し網、船びき網などを主体として、エビ類、マダイ、サワラ、シラスなどを水揚げしているほか、干潟域や内湾を利用したカキ養殖も盛んです。

一方、豊後水道は沿岸域がリアス海岸で形成される生産性の高い漁場となっており、まき網や定置網、一本釣りなどを主体として、アジやサバ、イワシをはじめとした多種多様な魚介類を水揚げしています。また、静穏域が多い海岸地形を利用して、生産量全国1位のヒラメ、2位のブリをはじめとして、クロマグロ、シマアジなどの魚類養殖業や貝類養殖業が盛んに行われています。

内水面では、九州で漁獲量1位のアユをはじめとした河川漁業のほか、ドジョウやスッポンなどの養殖業も営まれています。

全国の高級ブランド魚の先駆けである「関あじ関さば」をはじめ、「城下かれい」、「姫島車えび」、県の特産品であるカボスを餌に混ぜて育てた「かぼすブリ」、「かぼすヒラメ」などの魅力あるブランド水産物が多く存在し、複雑な海岸線により地域毎に多様な水産物が水揚げされています。

このような地域の特徴に根ざした多種多様な漁業は、四季折々の豊かな水産物を県内外に供給することはもちろん、水産加工品の原料や、観光資源としての利用など、本県の産業振興に重要な役割を果たしています。



(関あじ・関さば)



(かぼすブリ)

開催意義

(1) つくり育てる漁業をさらに推進していく絶好の機会

「全国豊かな海づくり大会」の第1回大会は、昭和56年に皇太子同妃両殿下をお迎えし、全国に先駆けて、本県の鶴見町（現：佐伯市鶴見）松浦漁港で開催されました。

大会を契機として、漁業関係者が一丸となり栽培漁業の推進や小型魚の漁獲規制、県下一斉休漁日の設定、環境に配慮した養殖業の振興などの取組が積極的に行われてきました。また、これらは水産資源が生育する環境を保全するための藻場造成や海岸の清掃、森林から川や海へのつながりを意識した植樹活動などの取組とあわせ、40年以上が経過した現在も技術向上などにより発展的に継続され、水産資源の保護・管理と環境保全の大切さは多くの漁業者の意識に根付いてきています。

一方で、水産資源の減少は続いており、それに伴う担い手の減少や高齢化の進行、消費者の魚離れなど水産業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

本大会は、第1回目の開催県として、本県の漁業関係者のこれまでの努力とこれからの挑戦を県内外に広くアピールし、水産業についての理解と関心をさらに深めてもらうとともに、つくり育てる漁業の要である種苗生産施設（大分県漁業公社国東事業場）のリニューアルと相まって、さらなる取組を推進する絶好の機会となります。

(2) 環境保全の重要性を訴える貴重な機会

ふるさとの豊かな海を守っていくためには、栄養豊富な水を生み出す森林と、その水を海へ供給する河川の環境を保全していくことも重要です。

また、国際的に大きな問題となっている海洋プラスチックごみや地球温暖化による海洋環境の変化などの新たな課題に対しては、漁業者だけでなく消費者も含めた国民全体で取り組むことが不可欠です。本県で2回目の開催となる本大会は、環境保全の重要性を広く訴えかけていくことのできる貴重な機会となります。

(3) 水産物の消費拡大と「おんせん県」の新たな魅力を発信できる機会

国内の水産物消費の減少が続く中、本県では消費拡大に向けて、お魚料理教室の開催や学校給食への利用促進、家庭で手軽に食べることができるレシピの開発などの魚食普及に取り組んでいます。大会は、これら魚食普及に一層取り組んでいく契機になるとともに、本県の豊かな海や川で育まれた多様な水産物の味力(みりよく)を県内外に広く発信する機会となります。

また、日本唯一の海上交通であるホーバークラフトの復活など「おんせん県おおいだ」の新たな魅力として、令和6年春のデスティネーションキャンペーンとあわせ、全国に広く発信する機会となります。

基本理念

大分県の豊かな海や川を次代へ引き継いでいくため、つくり育てる漁業に一層取り組むとともに、それらを育む自然環境を守っていくことの重要性を県内外へ広く訴えかけます。

また、四季折々の味力(みりよく)あふれる多様な水産物に加え、「おんせん県おおいた」の新たな魅力を全国へ広く発信していきます。

基本方針

(1) 水産資源の保護と管理の一層の推進

水産資源の維持・増大を図り、「生産者の挑戦と努力が報われる漁業」の実現に向け、令和6年度にリニューアルする大分県漁業公社を核に、つくり育てる漁業をさらに推進するための大会とします。

(2) 森から川、海へとつながる豊かな自然環境の保全

森から川へ、川から海へとつながる自然環境や藻場造成などによる良好な沿岸環境の保全とともに、近年、国際的に大きな問題となっている海洋プラスチックごみや地球温暖化などの環境問題に取り組むことの重要性について県内外へ広く訴えかけることで、本県の豊かな海や川を次代に引き継いでいく大会とします。

(3) 四季折々の多様な水産物の消費拡大

「関あじ関さば」、「城下かれい」、「かぼすぶり」、「姫島車えび」などのブランド水産物をはじめ、本県の海や川で育まれた四季折々の多様な水産物の味力(みりよく)を県内外へ発信し、消費拡大を図る大会とします。

(4) おんせん県の新たな魅力を全国に発信

日本唯一の海上交通であるホーバークラフトの復活など本県では地域の活性化に向けた新たな取組を次々と展開しています。令和6年春のデスティネーションキャンペーンとあわせて、新たな魅力を全国に発信する大会とします。

基本的な考え方

会場となる施設や敷地形状、立地を最大限に生かし、会場設営の経費を節減しながら、すべての来場者に安全・安心で快適な会場づくりを計画します。

(1) 式典行事会場【iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ（大分市）】

iichikoグランシアタの既存施設の設備を活かします。施設は最大1,966人の観客を収容できる規模と十分な広さの舞台ステージや複数の控室などを兼ね備えています。

(2) 海上歓迎・放流行事会場【別府港第4埠頭（別府市）】

別府湾の雄大な景色や豊かな漁場をご覧いただき、海上での漁船パレードや稚魚等の放流を通じてつくり育てる漁業の理解を深める場とします。

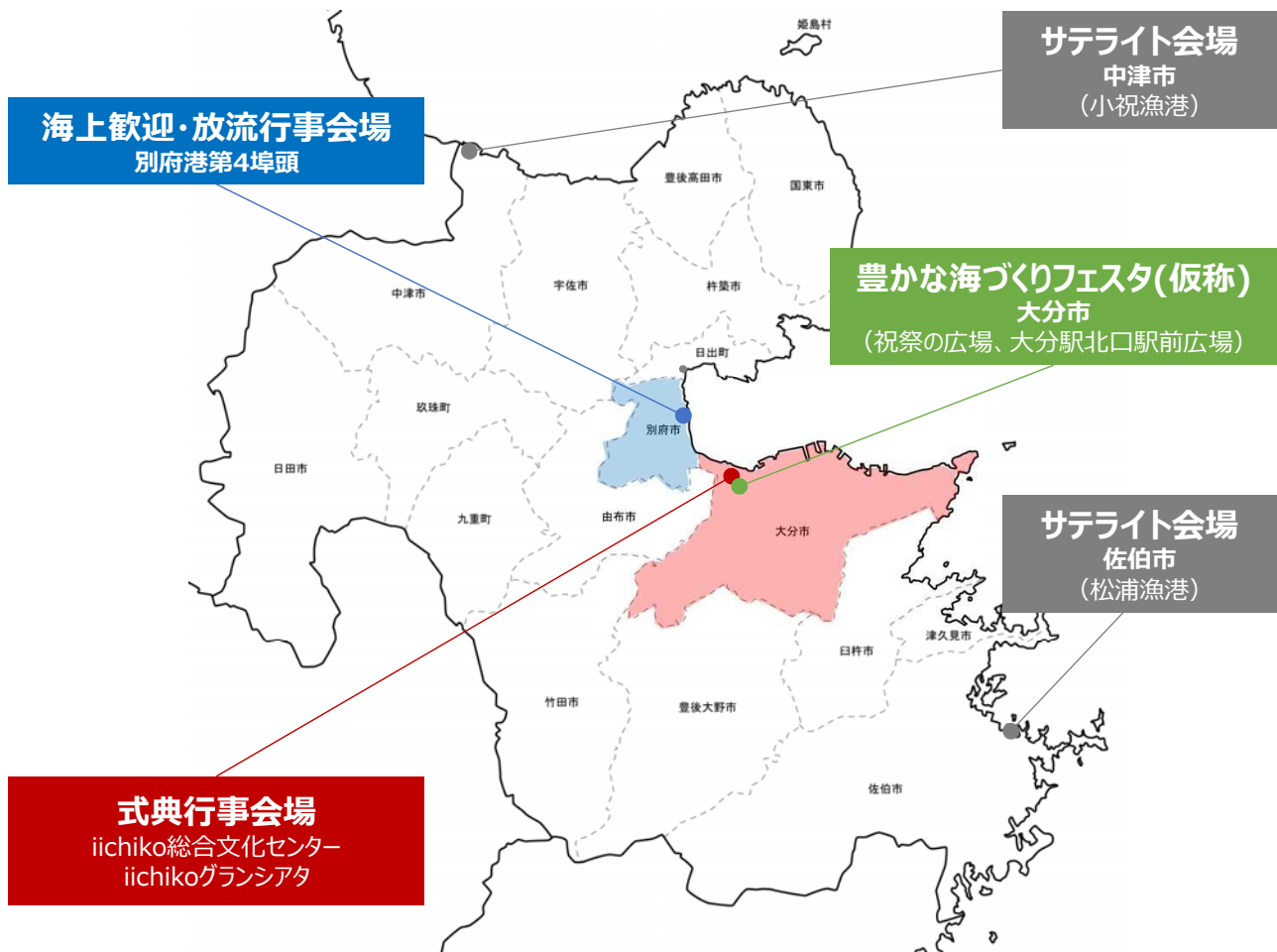
(3) 関連行事

- ・豊かな海づくりフェスタ(仮称)会場【大分市（祝祭の広場、大分駅北口駅前広場）】
- ・サテライト会場【佐伯市（松浦漁港）、中津市（小祝漁港）】

本県全体で大会を盛り上げるため、大分市、佐伯市、中津市の3カ所で関連行事を開催します。

飲食・物販ブースをはじめ、企画展示・体験ブース、ステージイベント等で来場者に水産業の魅力や豊かな海づくりに関する情報を発信する場とします。

会場配置図



基本的な考え方

各行事のタイムスケジュールに従い、招待者及び来場者の移動がスムーズに行えるよう、安全面・機能面を十分に考慮した計画とします。

各主要行事会場において、本県の特徴を活かした招待者への心のこもった“おもてなし”を行うことで、参加者が、再び来県したいと思っただけのよう工夫を凝らします。

行事スケジュール

会場	式典行事	海上歓迎・放流行事	関連行事		作品御覧・歓迎レセプション	
			豊かな海づくりフェスタ(仮称)	サテライト		
	iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ (大分市)	別府港第4埠頭 (別府市)	祝祭の広場、大分駅北口駅前広場 (大分市)	松浦漁港(佐伯市) 小祝漁港(中津市)	ホテル日航大分 オアシスタワー (大分市)	
11月9日(土)	9:00 総合リハーサル	総合リハーサル	関連行事			
	17:00				<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 絵画・習字作品御覧 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 5px;"> 歓迎レセプション </div>	
11月10日(日)	10:00 式典行事		行事中継	行事中継		
	12:00	式典行事録画映像放映				
	15:00	海上歓迎・放流行事			相互中継(佐伯市のみ)	
	17:00					



第2章

行事計画

基本的な考え方

厳粛で品位のある進行を基本とし、豊かな海や川を次世代に引き継いでいくために、つくり育てる漁業や水産物の消費拡大に一層取り組むとともに、それらを育む自然環境を守っていくことの重要性を全国に発信する内容とします。

漁業者とともに、県民総参加で挑戦していく大分県の「これからの豊かな海づくり」を紹介し、大会始まりの地で2巡目となる本大会を通じ、全国の漁業関係者とともに、取組をさらに推進していくことを誓う場とします。

日時等

- 期 日 : 令和6年11月10日(日) 午前
- 場 所 : iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ(大分市)
- 招待者数 : 約1,000名

実施内容

(1) 構成

式典行事では、プロローグ、表彰、稚魚等のお手渡し、海づくりメッセージ、エピローグなどを行います。

(2) 演出の考え方

- ア 第1回大会から引き継がれる本県のつくり育てる漁業の取組や、県民による自然環境の保全活動、そして変化に富む海や川の豊かさ、魅力を紹介する内容となるよう工夫します。
- イ 本県の豊かな海を次世代へつないでいくため、漁業者、県民が取り組む挑戦の姿を映像を交えて具体的に紹介するとともに、地域の伝統や魅力をパフォーマンスで表現します。
- ウ 大会の始まりの地で2巡目を迎える本大会で、県民総参加で取り組む本県の海づくりへの決意を力強く発信し、その想いを全国の漁業関係者に広げます。

(3) 基本的な構成・内容

式典行事は、華美にならない装飾のステージで、厳粛で品位ある進行を行います。

プロローグでは、第1回大会を振り返るとともに、本県の豊かな自然環境や各地の漁業について伝え、これらを次世代へつないでいくため、漁業者だけではなく県民総参加で取り組む挑戦について紹介します。

表彰では、豊かな海づくりに功績があった団体などの表彰を行います。

海づくりメッセージでは、本県の漁業関係者を中心に、豊かな海づくりへの決意を全国に発信します。力強い肉声と背景の映像とともに、豊かな海の未来をつくっていく決意を発信します。

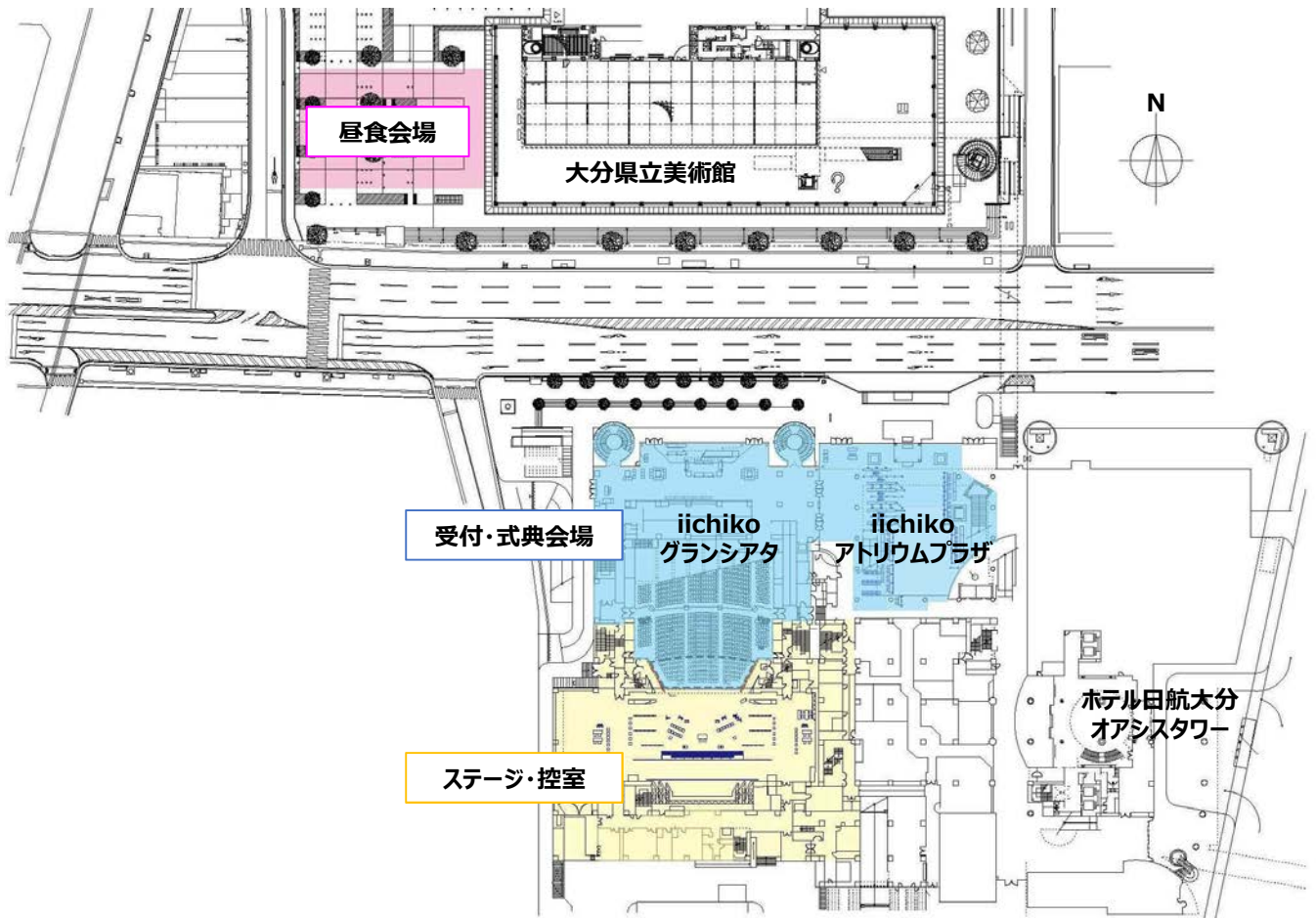
稚魚等のお手渡しでは、漁業関係者に対し、本県を代表する魚種の稚魚等のお手渡しが行われます。

エピローグでは、会場全体で豊かな海を次世代へつないでいく想いを共有し、全国の招待者へエールとなる歌を届けます。

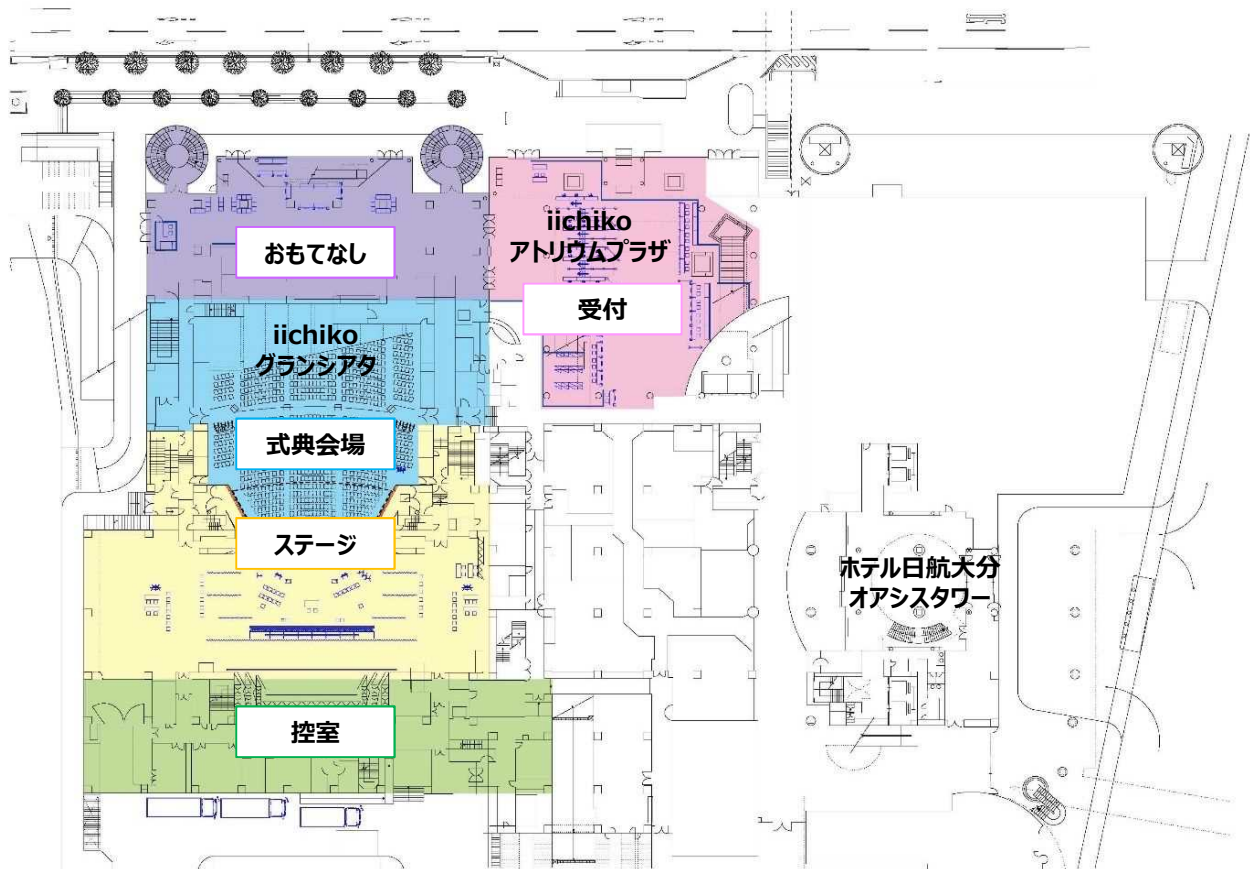
会場周辺図



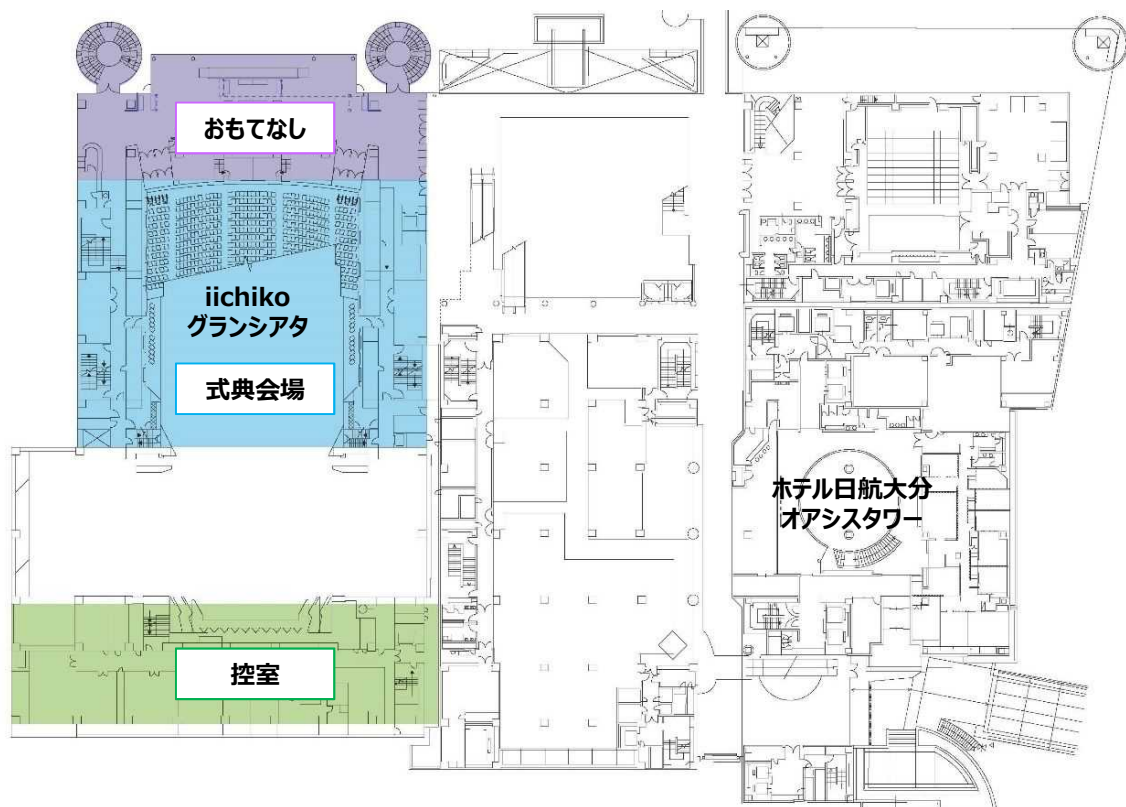
会場全体図



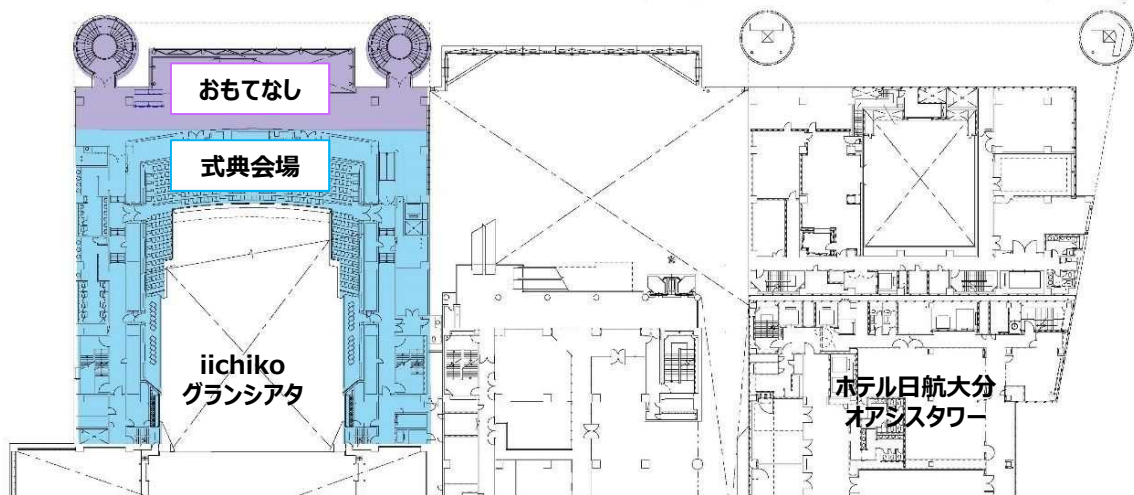
会場1階



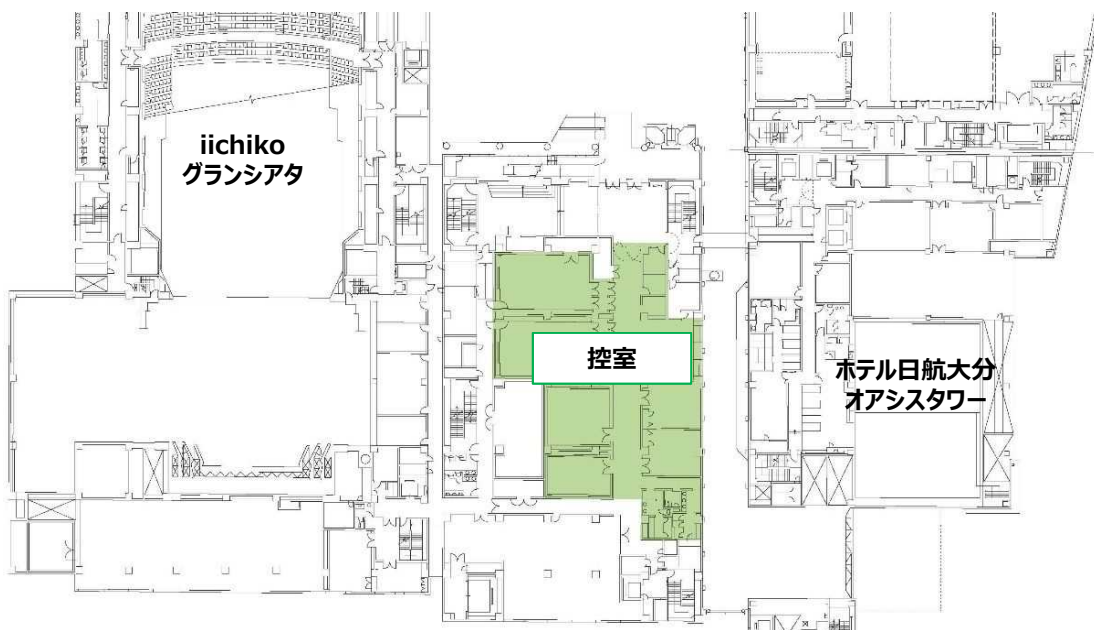
会場2階



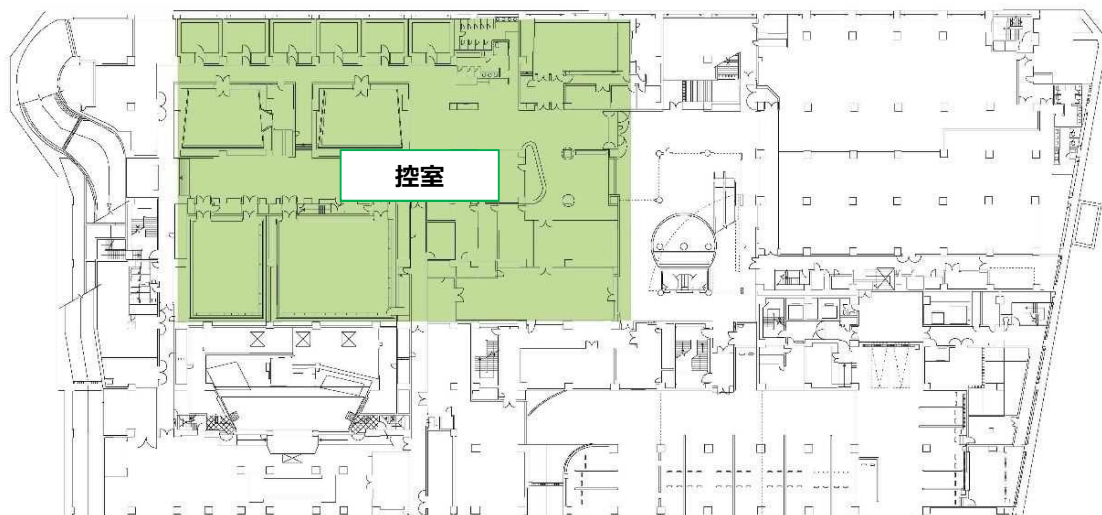
会場3階



会場4階



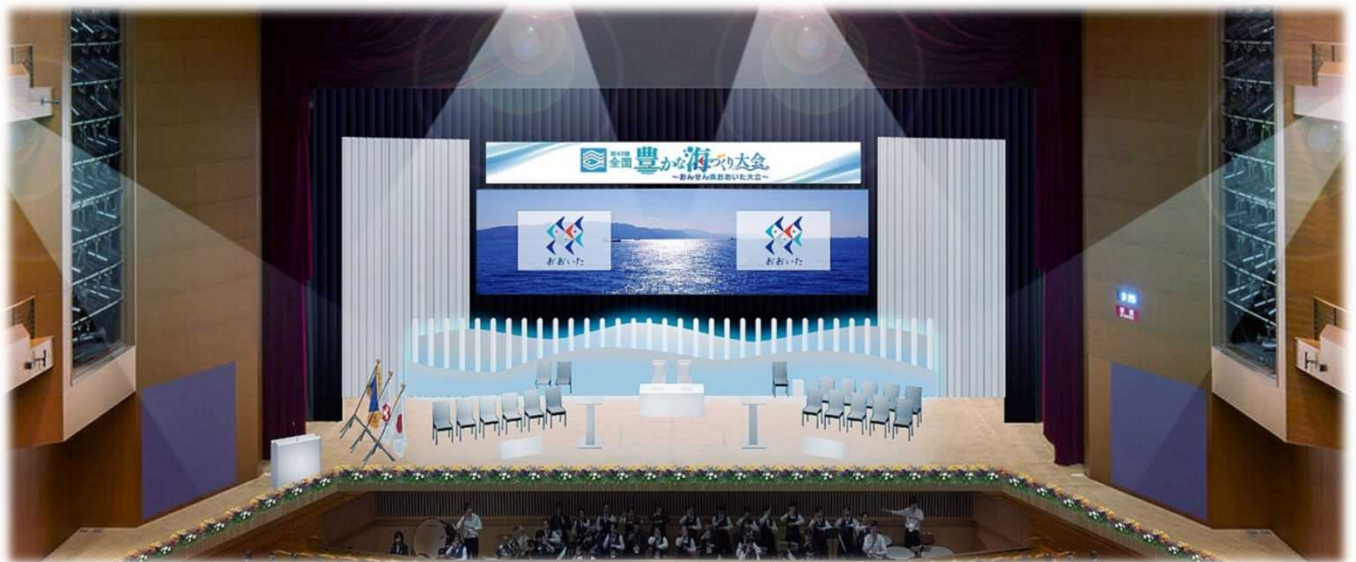
会場地下1階



配席図



ステージイメージ図



演出進行表

所要時間	次第	演出内容	出演者等	音楽	映像
90'	招待者入場開始 招待者着席	招待者順次入場 大分紹介の映像上映（観光ビデオ等）		VTR 音声	VTR 映像
35'	プロ ロー グ	第1章 第1回大会から引き 継がれる大分県の つくり育てる漁業	ナビゲーター：KEIKO&マーク・パンサー (globe) 私立大分東明高等学校 バトントワリング部 県立由布高等学校 郷土芸能部 地元関係者、学生など	VTR 音声 & ライブ 音声	VTR 映像 & ライブ 映像
		第2章 つくり育てる漁業の 新たな挑戦			
		第3章 未来へバトンを つなぐために			
7'	受賞者紹介	受賞者紹介映像を上映		BGM	VTR 映像
4'	進行概要説明	司会より開催概要、プログラム、 式典中の注意事項等を説明	司会者	—	ライブ 映像
5'	登壇者／式典補助員紹介	登壇者・式典補助員等の紹介	登壇者 式典補助員：県立大分西高等学校	—	ライブ 映像
4'	奉迎準備	司会者による奉迎の案内		BGM	ライブ 映像
2'	天皇后両陛下御臨席	大分県知事の先導により御臨席	演奏：iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ 先導：大分県知事	音楽隊 演奏	ライブ 映像
5'	大会旗入場	先導する鼓笛隊の演奏に合わせて大会旗が 入場	先導：私立千代町幼稚園 旗手：県立海洋科学高等学校	鼓笛隊 演奏	ライブ 映像
		旗手より大会旗受取	大分県知事	音楽隊 演奏	
1'	開会のことば	大分県漁業協同組合 代表理事組合長 より開会のことば	大分県漁業協同組合 代表理事組合長	音楽隊 演奏	ライブ 映像
2'	国歌斉唱			音楽隊 演奏	ライブ 映像
8'	主催者あいさつ	全国豊かな海づくり大会会長	大会会長（衆議院議長）	—	ライブ 映像
		大分県実行委員会会長	大分県知事		
2'	歓迎のことば	大分市長より歓迎のことば	大分市長	—	ライブ 映像
4'	天皇陛下のおことば			—	ライブ 映像
4'	功績団体等表彰	全国豊かな海づくり大会会長賞、農林水産 大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、大分 県知事賞	各賞受賞者代表	音楽隊 演奏	ライブ 映像
5'	最優秀作文の発表	大会会長賞受賞者より作文朗読	大会会長賞受賞者代表	—	ライブ 映像
5'	稚魚等のお手渡し	漁業関係者へ稚魚等をお手渡し	お受取：漁業関係者 介添え：県立大分西高等学校	音楽隊 演奏	ライブ 映像

所要時間	次第	演出内容	出演者等	音楽	映像	
12'	海づくりメッセージ	メッセージ① (漁船漁業)	【つくり育てる漁業の一層の推進-1】 漁船漁業者によるメッセージ	漁業者 環境保全活動の取組実践者 魚食普及活動の取組実践者など 進行：総合司会+ナビゲーター	BGM	VTR映像 & ライブ映像
		メッセージ② (養殖業)	【つくり育てる漁業の一層の推進-2】 養殖業者によるメッセージ			
		メッセージ③ (環境保全活動)	【森から川、海へとつながる豊かな自然環境の 保全】 環境保全活動の取組実践者によるメッセージ			
		メッセージ④ (魚食普及活動)	【四季折々の多様な水産物の消費拡大】 魚食普及活動の取組実践者によるメッセージ			
	協力&決意 (登壇者全員)	登壇者（メッセージ発言者）が一緒になって、 大分県の豊かな海を次世代へつないでいく決意を 高らかに発信。	メッセージ①～④の登壇者			
3'	大会決議	大会推進委員会会長より大会決議	豊かな海づくり大会推進委員会会長 (全国漁業協同組合連合会代表理事会長)	音楽隊 演奏	ライブ 映像	
4'	大会旗引継 次期開催県あいさつ	大分県知事から三重県知事へ大会旗引継 大会旗引継ぎ後、三重県知事よりあいさつ	大分県知事 三重県知事	音楽隊 演奏	ライブ 映像	
1'	閉会のことば	大分県議会議長より閉会のことば	大分県議会議長	-	ライブ 映像	
2'	天皇皇后両陛下御退席	大分県知事の先導により御退席	先導：大分県知事	音楽隊 演奏	ライブ 映像	
12'	登壇者退席	登壇者退席 司会より今後の予定等の案内 表彰式準備	司会者	BGM	ライブ 映像	
16'	エピソード	表彰式 終了あいさつ	大分県副知事 受賞者	BGM	ライブ 映像	
16'		エピソード	音楽やパフォーマンスなどで、会場全体で豊かな海を次世代へつないでいく思いを共有。 ナビゲーター：KEIKO & マーク・パンサー (globe) 関の鯛つり唄・おどり保存会 津久見榎の実少年少女合唱団	ライブ 音声	VTR 映像 + ライブ 映像	
	終了					

北海道大会（令和5年）での実施状況



大会旗入場



功績団体などの表彰



次期開催県への大会旗引継

*写真提供：北海道

登壇者・出演者一覧

登壇者	来賓	農林水産大臣 環境大臣 水産庁長官 三重県知事〔次期開催県〕
	主催者	全国豊かな海づくり大会会長〔衆議院議長〕 豊かな海づくり大会推進委員会会長〔全国漁業協同組合連合会代表理事会長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会会長〔大分県知事〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会副会長〔大分市長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会副会長〔別府市長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会副会長 〔大分県漁業協同組合代表理事組合長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会顧問〔大分県議会議長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会顧問〔大分市議会議長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会顧問〔別府市議会議長〕
	作文発表者	最優秀作文発表者
	受賞代表者	大会会長賞受賞代表者 農林水産大臣賞受賞代表者 環境大臣賞受賞代表者 水産庁長官賞受賞代表者 大分県知事賞受賞代表者
出演者等	プロローグ 出演者	ナビゲーター：KEIKO&マーク・パンサー（globe） 私立大分東明高等学校 バトントワリング部 県立由布高等学校 郷土芸能部
	海づくり メッセージ 出演者	漁業者 環境保全活動の取組実践者 魚食普及活動の取組実践者など
	大会旗入場 出演者	先導：私立千代町幼稚園 旗手：県立海洋科学高等学校
	稚魚等のお手渡し 出演者	お受取：漁業関係者 介添え：県立大分西高等学校
	式典補助員	県立大分西高等学校
	受賞者	作品コンクール（作文・絵画・習字）各部門の受賞者
	エピローグ 出演者	ナビゲーター：KEIKO&マーク・パンサー（globe） 関の鯛つり唄・おどり保存会 津久見檉の実少年少女合唱団
	式典音楽隊	iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ

演出の考え方と内容

(1) 演出の考え方

大会始まりの地で2巡目となる本大会を通じ、県民総参加で取り組んでいく挑戦について紹介するとともに、大分県の豊かな海を次世代につないでいく決意を力強く発信し、その想いを全国に広げます。

- ア 皇室御臨席行事にふさわしい格調のある式典を執り行い、漁業者とともに、県民も主体となって取り組む「これからの豊かな海づくり」を全国に発信します。
- イ 第1回大会を振り返るとともに、本県のつくり育てる漁業や自然環境の保全活動、魚食普及活動などについて、これまでの努力と、漁業者とともに県民総参加で取り組んでいくこれからの挑戦を、映像を交えて具体的に紹介します。
- ウ 本県の豊かな自然環境や変化に富む海や川に育まれた、多様な水産物、文化伝統等を紹介し、本県の魅力を全国に伝えます。

(2) 構成と内容

プロローグ、式典、エピローグを通じて、「つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ」をテーマに、大分県の海の豊かさや、漁業者、県民がともに努力し挑戦する姿を紹介し、豊かな海を守る想いを会場全体と共有します。

構成	内容
プロローグ	全国からの参加者に歓迎の意を表するとともに、第1回大会から続く大分県の漁業者のこれまでの努力や、海や川の豊かさを伝え、これら本県の豊かな海を次世代へつないでいくため、漁業者とともに県民総参加で取り組むこれからの挑戦について紹介します。
式典 (海づくりメッセージ)	「海づくりメッセージ」では、漁業者などが、各自の挑戦と工夫をもとに、本県の豊かな海を次世代へつないでいく決意を発信します。
エピローグ	会場全体で豊かな海を次世代へつないでいく想いを共有し、全国の招待者へエールとなる歌を届けます。

(3) 式典に親しみやすさを醸成するナビゲーターの起用

式典行事全体の進行を総合司会と協力しながら進め、式典に統一感と親しみやすさを与える役割としてナビゲーターを起用します。

ナビゲーターには、出演者と参加者の橋渡し役を務めてもらうほか、ご自分の体験をもとに海の未来への想いを語っていただきます。

■ ナビゲーター KEIKO&マーク・パンサー (globe)

二人は、音楽グループglobeのメンバーとして活動。

KEIKO (ケイコ) は、大分県臼杵市出身の歌手。

マーク・パンサーは、ツーリズム別府大使及び日出町の観光親善大使。

1年前プレイベント『おおいた海博』にもトークショーのゲストとして出演。



(2) 式典

厳粛で品位のある進行を基本に、「これからの豊かな海づくり」の誓いの場として、大分らしい演出で発信します。

〈次第〉

1. 受賞者紹介	2. 登壇者／式典補助員紹介	3. 御臨席
4. 大会旗入場	5. 開会のことば	6. 国歌斉唱
7. 主催者あいさつ	8. 歓迎のことば	9. 天皇陛下のおことば
10. 功績団体等表彰	11. 最優秀作文の発表	12. 稚魚等のお手渡し
13. 海づくりメッセージ	14. 大会決議	15. 大会旗引継
16. 次期開催県あいさつ	17. 閉会のことば	

■ 稚魚等のお手渡し

大分県を代表する4魚種が漁業関係者にお手渡しされ、大会終了後に放流されます。

魚種・特徴	写真
<p>○イサキ</p> <ul style="list-style-type: none"> 主に豊後水道域で漁獲され、一本釣り漁業や定置網漁業などで漁獲される。 県内で年間およそ50万尾の種苗が放流されており、全長制限による資源管理の取組が行われている。 	 <p>*写真提供：佐伯市</p>
<p>○キジハタ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方名では「アコウ」と呼ばれ、高級魚として扱われる。 リニューアルされる大分県漁業公社で生産が開始される予定であり、放流場所付近での定着性が強く、放流対象種として有望とされている。 	 <p>*写真提供：佐伯市</p>
<p>○カジメ</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内では「くろめ」と呼ばれ、食用として豊後水道北部域で漁獲される。 食害生物の除去や母藻設置などにより、県内各地でカジメをはじめとした海藻や海草の保全活動が行われている。 近年、温室効果ガスの吸収源としてブルーカーボン生態系への注目が高まっている。 	
<p>○アサリ</p> <ul style="list-style-type: none"> 潮干狩りの対象種として古くから親しまれ、1980年代には本県のアサリ漁獲量は日本一を誇った。 1986年以降、本県のアサリ資源は大きく減少しており、資源回復に向けて各地で増殖活動が行われている。 	

■ 海づくりメッセージ

大分県の先人達の知恵と努力（バトン）を引き継ぎ、「豊かな海」の創出を目指す挑戦について、発表者の取組に基づいて決意を発信してもらいます。

各自の挑戦と工夫をもとに、本県の豊かな海を次世代へつないでいく決意を発信し、大会始まりの地より、その想いを全国に広げます。

また、登壇者たちがメッセージを述べる背後には、その内容にふさわしい映像を流し、臨場感のある演出・進行を行います。

演目・発表者	メッセージの内容（方向性）
メッセージ① 漁船漁業	【つくり育てる漁業の一層の推進-1】 漁船漁業者が、つくり育てる漁業（水産資源の保護・管理）をさらに推進し、自らの漁業や地域を次世代につないでいく挑戦と決意を発信します。
メッセージ② 養殖業	【つくり育てる漁業の一層の推進-2】 養殖業者が、つくり育てる漁業（マーケットと環境に対応した養殖業）をさらに推進し、自らの養殖業や地域を次世代につないでいく挑戦と決意を発信します。
メッセージ③ 環境保全活動	【森から川、海へとつながる豊かな自然環境の保全】 環境保全活動の取組実践者が、海や水辺等の豊かな自然環境を次世代につないでいく取組や環境保全への県民の意識と行動を変えていく挑戦と決意を発信します。
メッセージ④ 魚食普及活動	【四季折々の多様な水産物の消費拡大】 魚食普及活動の取組実践者が、工夫して取り組んでいる魚食普及活動の取組や将来にわたって水産物をおいしく食べてもらうための挑戦と決意を発信します。
誓いのことば	登壇者全員で大分県の豊かな海づくりへの決意を唱和し、その想いを会場全体と共有します。

(3) エピローグ

式典行事の終了に際し、大会の意義を再確認するとともに、会場全体で豊かな海を次世代へつないでいく想いを共有し、全国の招待者へエールとなる歌を届けます。

演出イメージ	出演者
<p>◇導入 ナビゲータのトークを通じて想いの共有</p> <p>式典全体を振り返りながら、ナビゲーター自身がどう意識が変わったのか、等身大の感想やナビゲーター自身の決意を来場者と共有します。</p>	ナビゲーター
<p>◇大漁祈願のエールにかえて</p> <p>豊かな海づくりに取り組むすべての漁業関係者へのエールとして、大漁祈願の意味のある芸能を披露します。</p>	関の鯛つり唄・おどり保存会
<p>◇どんな未来が待っているのか ～合唱で未来に向けて進む～</p> <p>大会テーマ「つなぐバトン 豊かな海を 次世代へ」を、受け継いでいく子どもたちによる合唱でフィナーレを飾ります。</p> <p>海への想いや豊かな海の情景、明るい未来のイメージを想起させつつ、豊かな海づくりのためにこれから前に進んでいこうとする、すべての人へエールを送り届けます。</p>	津久見櫨の実 少年少女合唱団

基本的な考え方

漁船による海上パレードなどで招待者を歓迎します。また、海への感謝の心を育み、「豊かな海」を次世代につなげるため、思いを込めて稚魚の放流を行います。

日時等

- 期 日：令和6年11月10日（日）午後
- 場 所：別府港第4埠頭（別府市）
- 招待者数：約500名

実施内容

（1）構成

海上歓迎・放流行事では、様々な漁業に従事する漁船等による漁法紹介、稚魚の放流などを行います。

（2）演出

行事に先立ち、吹奏楽による歓迎演奏で、行事の幕開けを演出します。

海上歓迎行事では、和太鼓の演奏をバックに漁船等が招待者の前を航行し、大分県を代表する漁法等の紹介を行います。また、大漁旗で装飾した約50隻の漁船団によるパレードを併せて行うことで、華やかさと勇壮さを演出します。

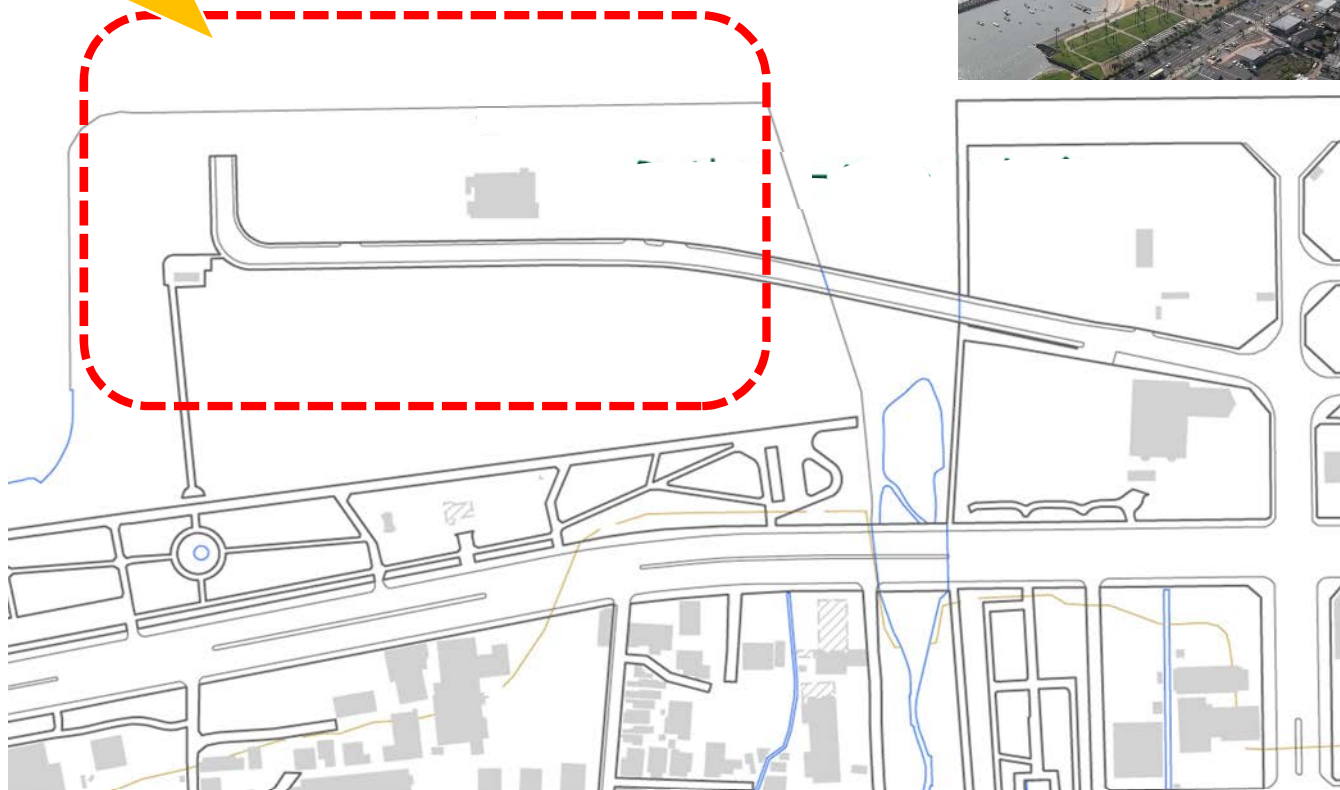
放流行事では、吹奏楽の演奏をバックにマコガレイとマダイの稚魚を参加者全員で放流します。また、海上歓迎・放流行事会場とサテライト会場（佐伯市「松浦漁港」）を相互に映像中継することで、両会場での同時放流を実施します。



海上歓迎パレードイメージ

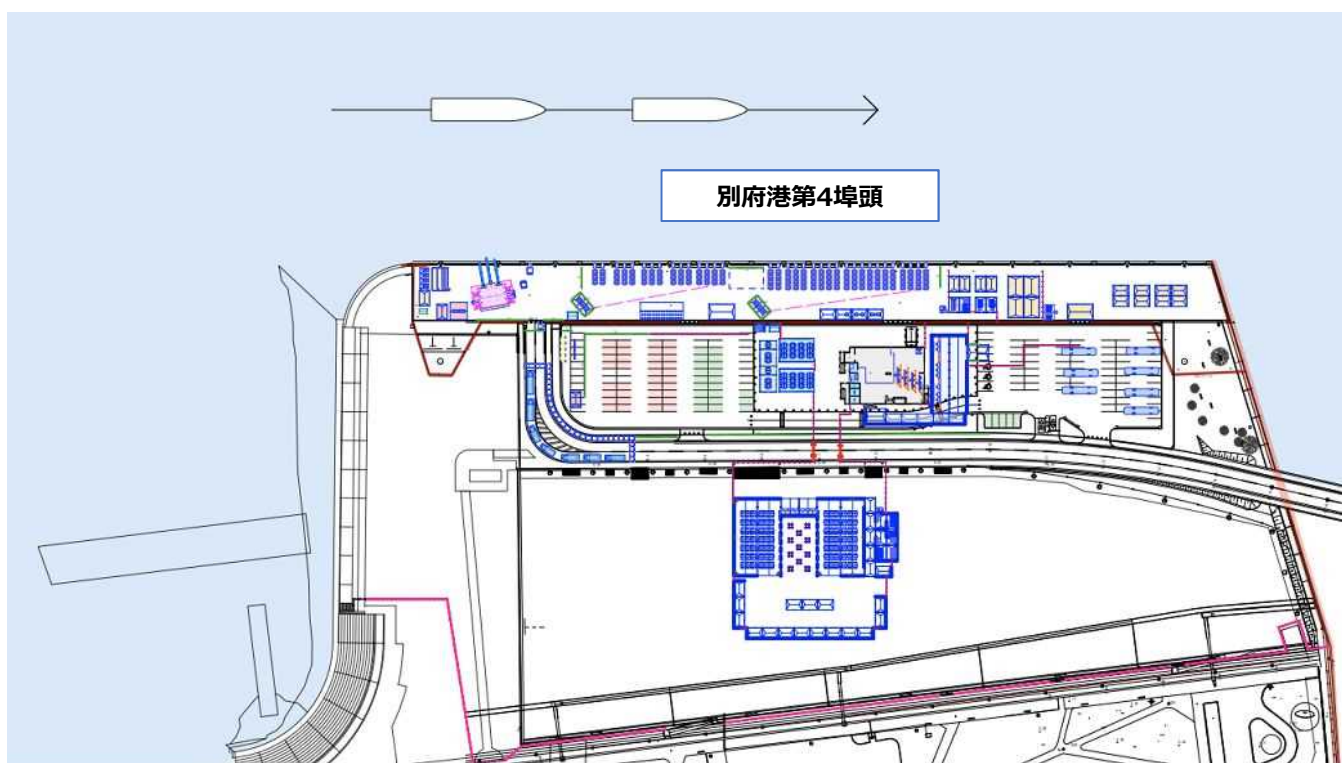
会場周辺図

海上歓迎・放流行事会場

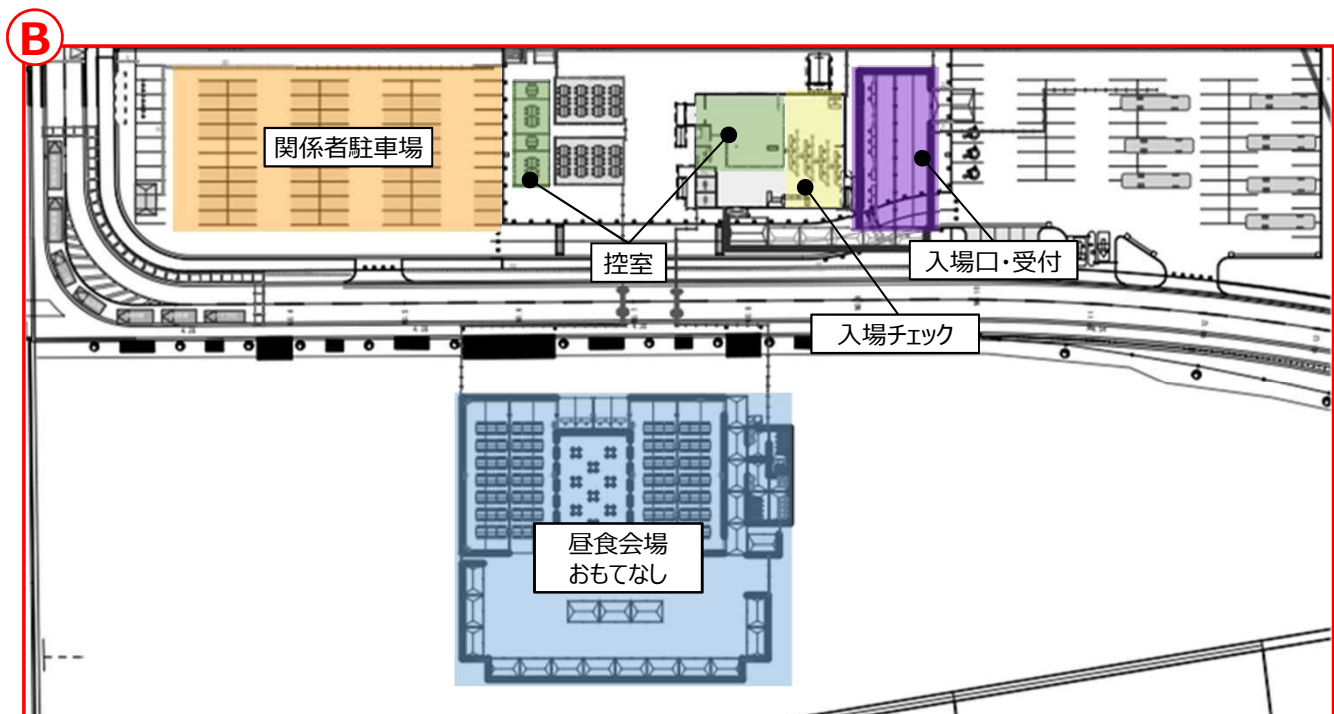
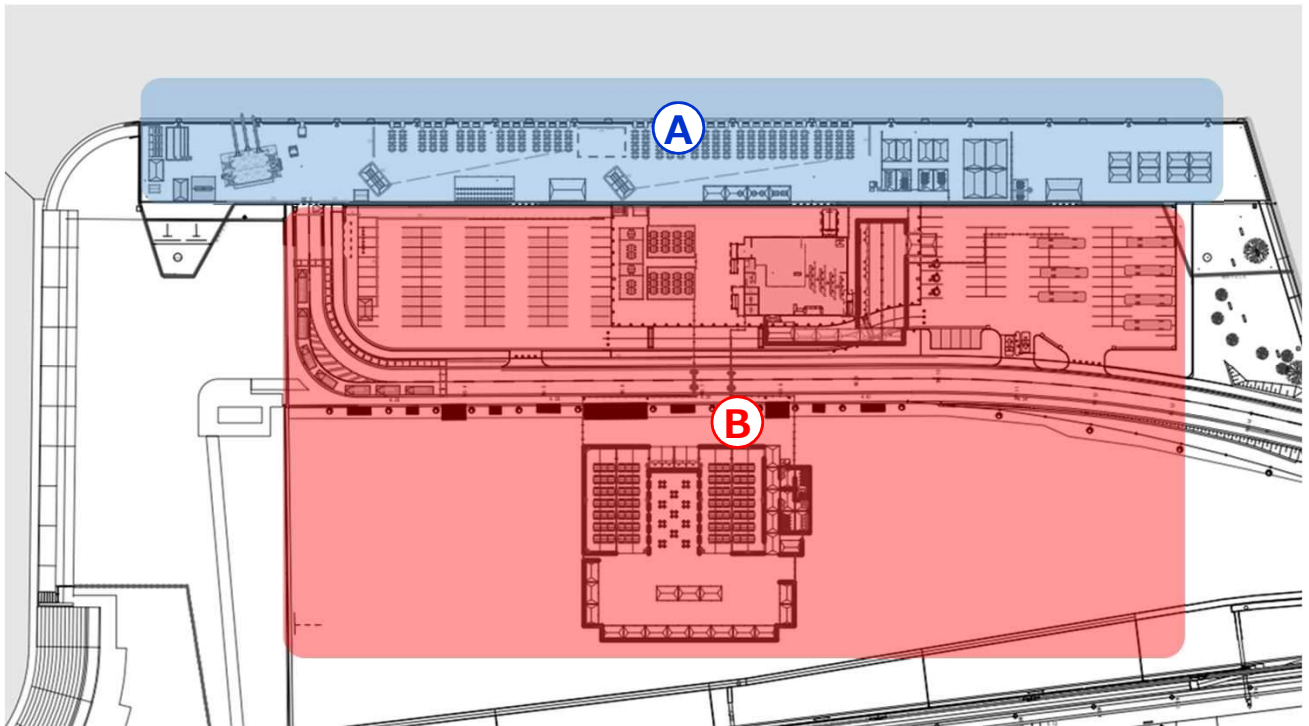


※国土地理院地図を基に大分県作成

会場全体図



会場拡大図



御放流所

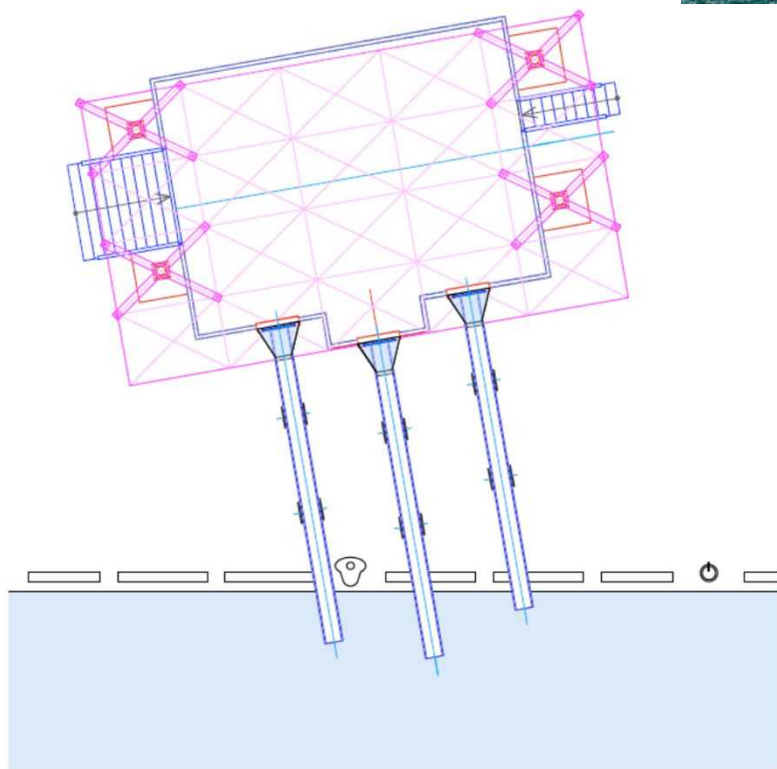
別府湾の雄大な景観と湾内の豊かな漁場を御覧いただける位置に設置します。また、両陛下の御放流の様子が確実に撮影できるよう、適切な報道取材台の配置を行います。

御放流所の材料は、環境に配慮するとともに、可能な限り県産木材を用いることとします。

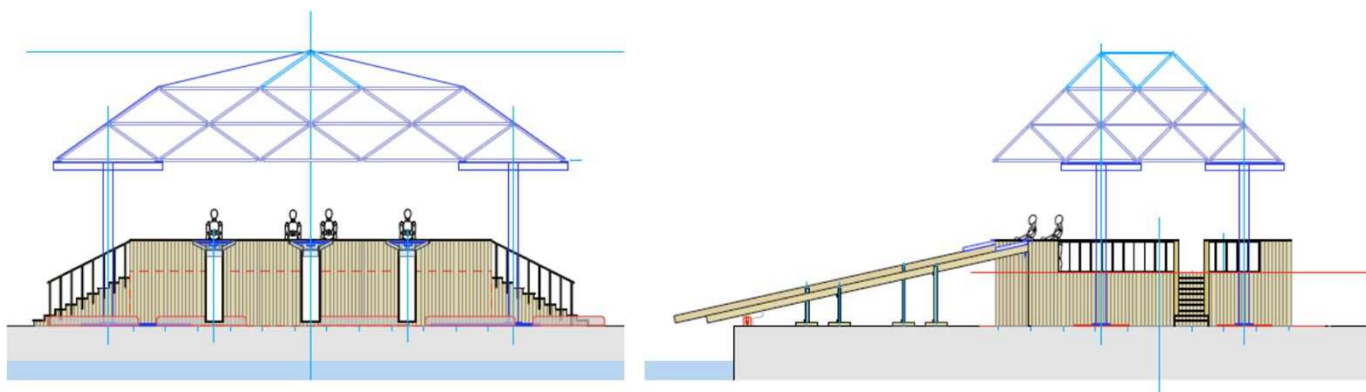


放流行事イメージ

■ 平面図



■ 立面図



演出進行表

所要時間	次第	演出内容	出演者等	音楽
	招待者入場開始	招待者順次入場	—	—
	式典行事 映像放映	視聴エリアにて式典（録画）の映像放映	—	VTR 音声
	招待者会場移動・整列	視聴エリアから招待者放流所へ移動	—	—
10'	歓迎演奏	吹奏楽による歓迎演奏	吹奏楽：県立別府翔青高等学校	吹奏楽 演奏
5'	進行概要説明	プログラム及び注意事項の案内等	司会者	—
2'	奉迎準備	司会者による奉迎の案内		—
2'	御着～御移動	大分県知事の先導により御放流所へ御移動	先導：大分県知事 演奏：県立別府翔青高等学校	吹奏楽 演奏
13'	海上歓迎御覧	漁船等によるパレード（漁法紹介、漁船団）	漁法紹介：漁船8隻/官公庁船2隻 漁船団：漁船約50隻 演奏：豊後潮太鼓	和太鼓 演奏
4'	第1回御放流	マコガレイ稚魚の放流 ※サテライト会場（佐伯市）との同時放流	御放流介添：県立海洋科学高等学校 演奏：県立別府翔青高等学校	吹奏楽 演奏
4'	第2回御放流	マダイ稚魚の放流 ※サテライト会場（佐伯市）との同時放流	御放流介添：県立海洋科学高等学校 演奏：県立別府翔青高等学校	吹奏楽 演奏
2'	御発	大分県知事の先導により御発	先導：大分県知事 演奏：県立別府翔青高等学校	吹奏楽 演奏
	終了アナウンス	司会より参加者への連絡事項	司会者	—

登壇者・出演者一覧

登壇者	来賓	農林水産大臣 環境大臣 水産庁長官
	主催者	全国豊かな海づくり大会会長〔衆議院議長〕 豊かな海づくり大会推進委員会会長〔全国漁業協同組合連合会代表理事会長〕 豊かな海づくり大会推進委員会顧問〔一般社団法人大日本水産会会長〕 豊かな海づくり大会推進委員会顧問〔日本放送協会会長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会会長〔大分県知事〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会副会長〔別府市長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会副会長〔大分市長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会副会長 〔大分県漁業協同組合代表理事組合長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会顧問〔大分県議会議長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会顧問〔別府市議会議長〕 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会顧問〔大分市議会議長〕
その他	御放流介添	県立海洋科学高等学校
	吹奏楽演奏	県立別府翔青高等学校
	和太鼓演奏	豊後潮太鼓

海上歓迎行事

大分県内で営まれている代表的な漁法を紹介するほか、官公庁船を加えたパレードにより招待者を歓迎します。

漁船	機船船びき網漁業
	小型機船底びき網漁業
	一本釣り漁業
	刺し網漁業
	ごち網漁業
	もじゃご漁業
官公庁船	漁業取締船
	漁業調査船



プレイベントでの漁法紹介参加漁船
(機船船びき網漁業)

御放流魚種

海上歓迎・放流行事会場で放流される魚種

魚種・特徴	写真
<p>○マコガレイ</p> <ul style="list-style-type: none"> 本県では瀬戸内海を主体に、底びき網漁業や刺し網漁業などで漁獲される。 放流した種苗の生残率を高めるため、別府湾海域では中間育成により、稚魚を捕食されにくいサイズまで育て放流している。 伊予灘及び豊後水道北部海域では、全長制限による資源管理に取り組んでいる。 日出町の「城下かれい」は本種のことであり、全国的に知られるブランド魚である。 	
<p>○マダイ</p> <ul style="list-style-type: none"> 釣り漁業や底びき網漁業、刺し網漁業、ごち網漁業など様々な漁業種類で漁獲される。 本県における栽培漁業の歴史は古く、昭和56年の第1回大会でも放流している。 これまでに積極的な放流や資源管理が行われており、資源水準は回復基調にある。 遊漁の対象としても人気があり、漁業のみならず、レジャーでも重要な魚種である。 	<p style="text-align: right;">* 写真提供：佐伯市</p>

放流方法

放流参加者を前方ブロックと後方ブロックに分け、放流予定の魚種を分けて配置します。

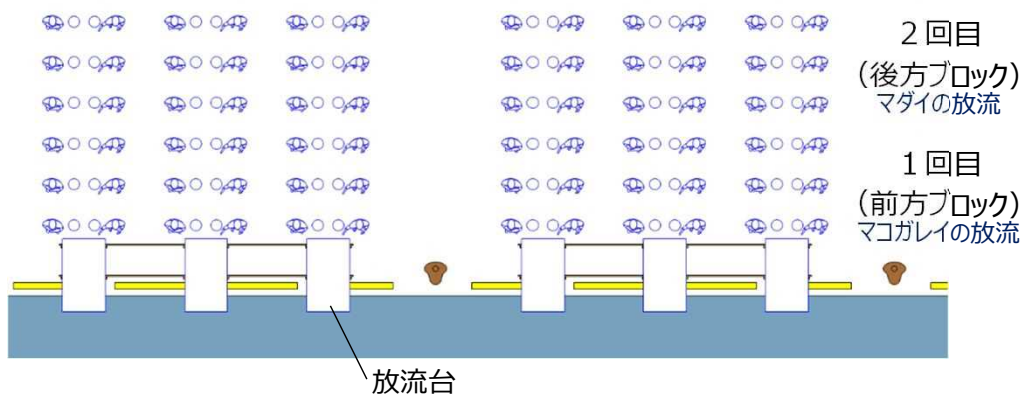
前方ブロックが1回目（マコガレイ稚魚）の放流を行った後、補助員の誘導により後方ブロックと入れ替わり2回目（マダイ稚魚）の放流を行います。



* 写真提供：北海道

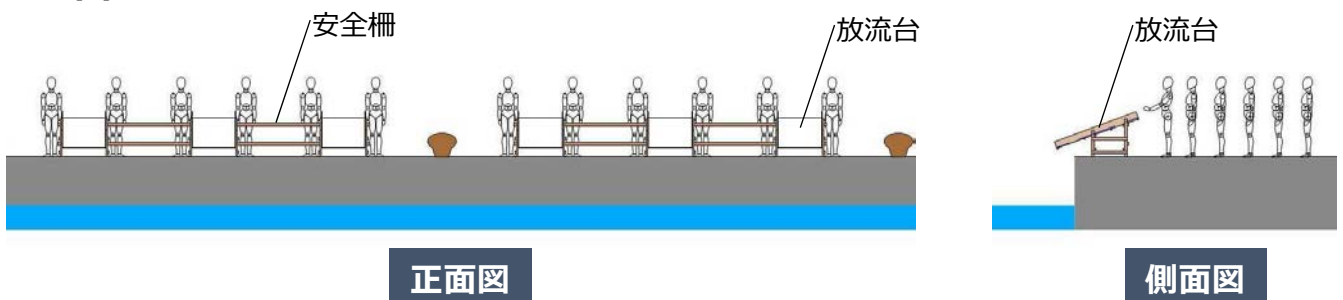
北海道大会（令和5年）での御放流

■ 平面図 【整列イメージ】



平面図

■ 立面図

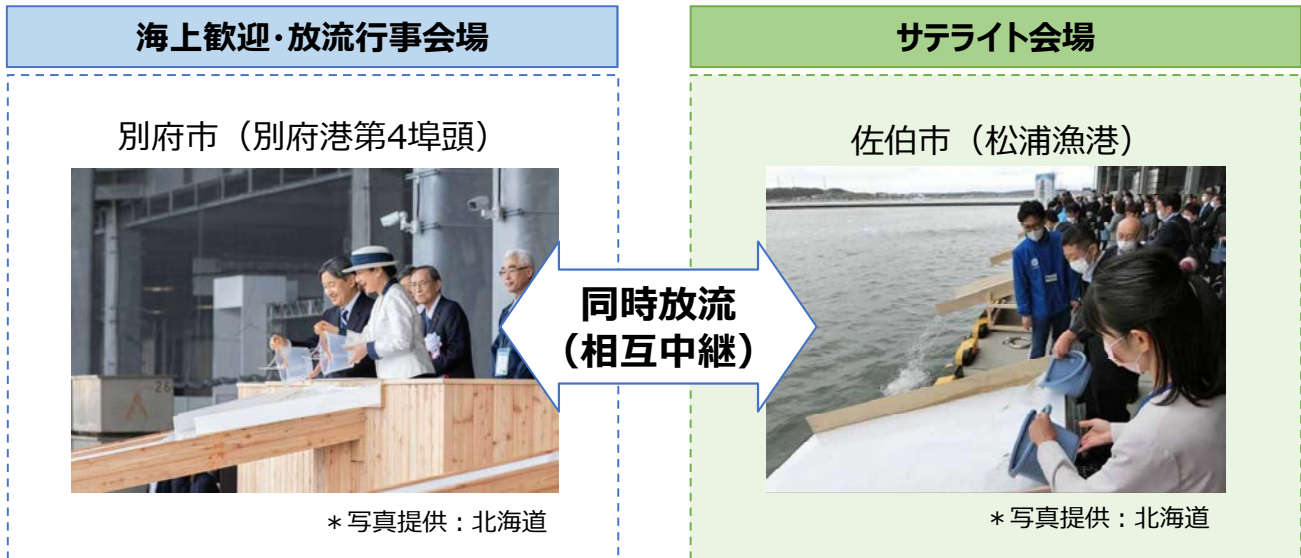


正面図

側面図

サテライト会場との同時放流計画

海上歓迎・放流行事会場（別府港第4埠頭）とサテライト会場（佐伯市「松浦漁港」）で同時放流を行うため、両会場に大型映像装置を設置し相互に映像中継を行います。また、放流合図は両会場の小学生が行うこととし、厳かなながらもテンポ良く確実な進行を行います。



放流合図	
1回目放流	海上歓迎・放流行事会場（別府市）の小学生による合図で両会場が同時に放流する
2回目放流	サテライト会場（佐伯市）の小学生による合図で両会場が同時に放流する

■ 大型映像装置

海上歓迎・放流行事会場（別府会場）の招待者エリアに大型映像装置を2か所設置。サテライト会場（佐伯市「松浦漁港」）にも大型映像装置や映像モニターを設置する計画とします。また、御放流所にも両陛下に御覧いただけるよう、映像モニターを設置します。



基本的な考え方

本県全体で大会を盛り上げるため、大分市、佐伯市、中津市の3カ所で関連行事を開催します。

飲食・物販ブースをはじめ、企画展示・体験ブース、ステージイベント等で来場者に水産業の魅力や豊かな海づくりに関する情報を発信する場とします。

また、行事の開催にあたっては、各地域のイベントとの連携を図っていきます。

豊かな海づくりフェスタ（仮称）

- 期 日 : 令和6年11月9日（土）・10日（日）
- 場 所 : 大分市（祝祭の広場、大分駅北口駅前広場）
- 主 催 : 第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会・大分市



祝祭の広場



大分駅北口駅前広場



■ 内 容

① 飲食・物販ブース

本県の味力（みりよく）あふれる多様な水産物を来場者が堪能できるような構成とします。

② 企画展示・体験ブース

来場者が、見て、聞いて、体験して、楽しみながら「豊かな海」とその保全について考え、学べる構成とします。

③ ステージイベント

式典行事や海上歓迎・放流行事の映像中継により各行事会場との一体感を生み出すとともに、トークショー等のステージイベントを催し、多くの来場者が楽しめる構成とします。

サテライト会場

- 期 日 : 令和6年11月10日（日）
- 場 所 : 佐伯市（松浦漁港）、中津市（小祝漁港）
- 内 容 :

佐伯市、中津市において各地域のイベント等と連携した、地域の特色あふれる関連行事会場を設営します。各会場では大会全体で一体感のある演出を行うため、映像装置を設置し、式典行事、海上歓迎・放流行事の模様を映像中継します。

また、佐伯会場では、海上歓迎・放流行事会場（別府港第4埠頭）との同時放流を実施します。

基本的な考え方

第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～の開催を記念して、県内の児童・生徒を対象に絵画・習字コンクールを実施し、優秀作品を御覧いただきます。

日時等

- 期 日：令和6年11月9日（土）
- 場 所：ホテル日航大分オアシスタワー（大分市）

展示内容

- 絵画部門 大分県知事賞 3点 [小学校（低・高学年）、中学校 各1点]
- 習字部門 大分県知事賞 3点 [小学校（低・高学年）、中学校 各1点]

プログラム

進行	出席者等
御着	御先導：大分県知事
絵画・習字優秀作品御覧	御説明：大分県教育委員会教育長 受賞者：大分県知事賞 〈絵画部門〉 小学校低学年（1年生～3年生）の部 小学校高学年（4年生～6年生）の部 中学校の部 計3名 〈習字部門〉 小学校低学年（1年生～3年生）の部 小学校高学年（4年生～6年生）の部 中学校の部 計3名
御発	御先導：大分県知事



北海道大会（令和5年）での作品御覧

* 写真提供：北海道

基本的な考え方

大会前夜に歓迎レセプションを行い、県内外からの招待者に大分県が誇る農林水産物を豊富に使用したメニューを堪能してもらい、豊かな大分の食でおもてなしをします。

日時等

- 期 日：令和6年11月9日（土）
- 場 所：ホテル日航大分オアシスタワー（大分市）

プログラム

進行	出席者等
御着	御先導：大分県知事
開宴のことば	大分県副知事
主催者あいさつ	大分県知事
歓迎のことば	別府市長
乾杯	全国豊かな海づくり大会会長（衆議院議長）
御懇談	
御退席	御先導：大分県知事
歓談	
終宴のことば	大分県議会議長

招待者

大会の趣旨を踏まえ、県内外の水産関係者をはじめとする大会関係者等を招待します。

招待者内訳	主な招待者
県外招待者	功績団体表彰受賞者 国関係者 豊かな海づくり大会推進委員会関係者 水産関係中央団体関係者 次期開催県（三重県）関係者 等
県内招待者	県選出国會議員 大分県議會議員 水産団体関係者 大分県実行委員会委員 等



第3章

大会運営計画

基本的な考え方

- (1) 招待者（出演者含む）の受付・案内の対応や各行事の進行管理など、大会運営に係る業務を円滑に実施するため、「第43回全国豊かな海づくり大会大分県実施本部」を設置します。
- (2) 実施本部員は、大分県職員及び関係市職員を中心に構成します。
- (3) 大会を円滑に推進するため、事前に関係機関、関係団体との綿密な情報交換・調整を行います。

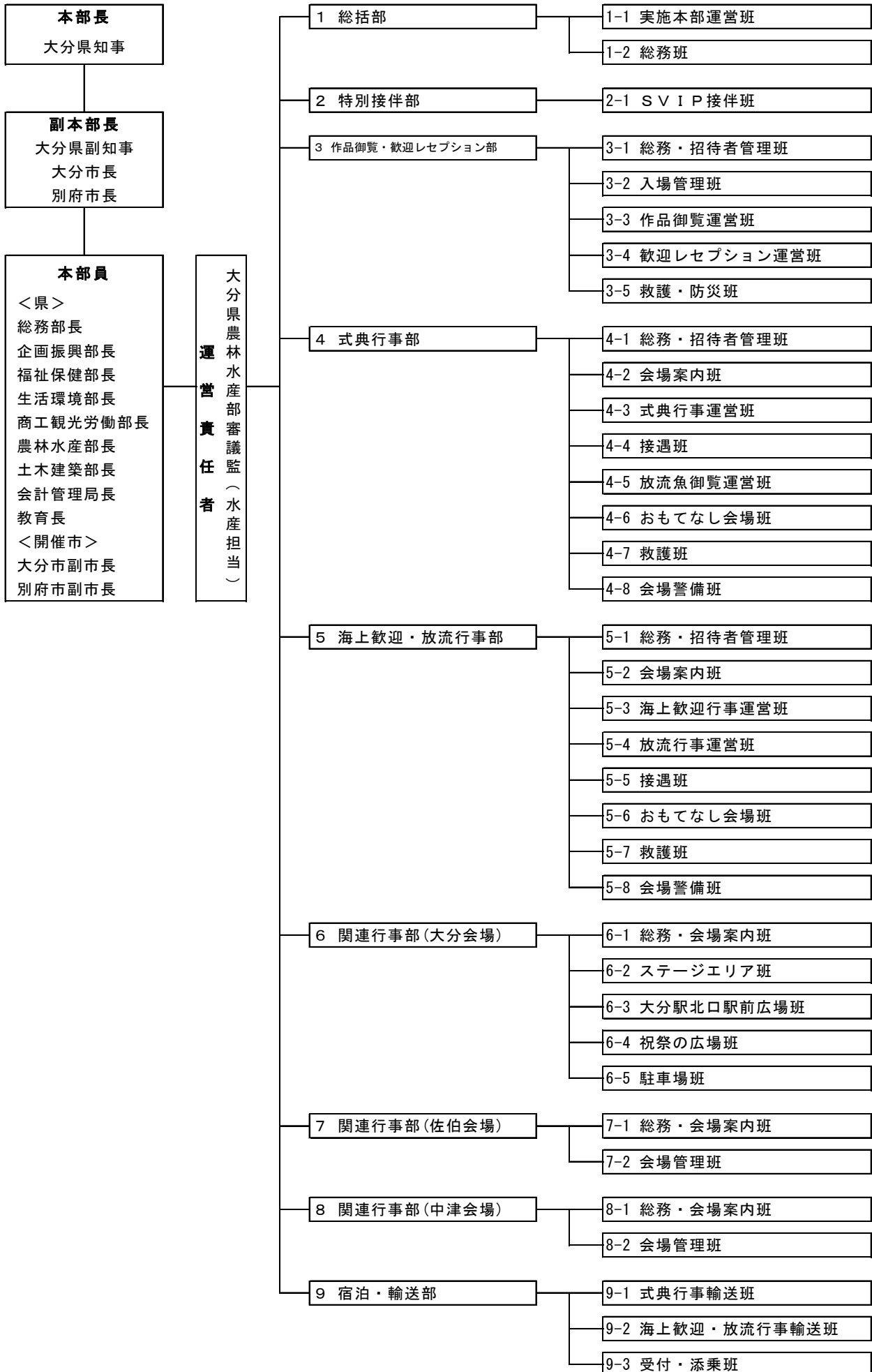
組織及び業務概要

- (1) 実施本部に本部長、副本部長、本部員及び運営責任者を置き、各部には部長及び班長等を置きます。
- (2) 組織や主な業務内容については別表のとおりとします。

その他

上記のほか、実施本部の組織及び運営に関し必要な事項は、本部長が別に定めます。

【組織図】



【主な業務内容】

		組織名		業務内容
部名		班名		
1	総括部	1-1	実施本部運営班	実施本部の総括、大会運営の進行管理 関係機関との連絡調整、報道機関対応、判定会議の運営 他部の事務に属さないこと
		1-2	総務班	県民対応等の窓口、荒天時対応の補助
2	特別接伴部	2-1	SVIP接伴班	SVIPとの連絡調整・受付・接伴
3	作品御覧・歓迎レセプション部	3-1	総務・招待者管理班	作品御覧・歓迎レセプションの総括管理
		3-2	入場管理班	作品御覧・歓迎レセプション招待者の受付・手荷物検査
		3-3	作品御覧運営班	絵画・習字作品御覧の運営進行管理
		3-4	歓迎レセプション運営班	歓迎レセプションの運営進行管理
		3-5	救護・防災班	救護及び防災対策、医療機関・消防等との連絡調整
4	式典行事部	4-1	総務・招待者管理班	式典行事の総括管理、招待者の名簿管理
		4-2	会場案内班	会場内の総合案内、招待者の会場内誘導
		4-3	式典行事運営班	式典行事の運営進行管理
		4-4	接遇班	SVIP等の接遇等
		4-5	放流魚御覧運営班	放流魚御覧の運営進行管理
		4-6	おもてなし会場班	おもてなし会場の運営進行管理、招待者の接遇等
		4-7	救護班	救護及び医療機関・消防等との連絡調整
		4-8	会場警備班	会場及び周辺の警備、防災対策
5	海上歓迎・放流行事部	5-1	総務・招待者管理班	海上歓迎・放流行事の総括管理
		5-2	会場案内班	会場内の総合案内、招待者の会場内誘導
		5-3	海上歓迎行事運営班	海上歓迎行事の運営進行管理
		5-4	放流行事運営班	放流行事の運営進行管理
		5-5	接遇班	SVIP等の接遇等
		5-6	おもてなし会場班	おもてなし会場の運営進行管理、招待者の接遇等
		5-7	救護班	救護及び医療機関・消防等との連絡調整
		5-8	会場警備班	会場及び周辺の警備、防災対策
6	関連行事部 (大分会場)	6-1	総務・会場案内班	会場内の総括管理、総合案内
		6-2	ステージエリア班	ステージエリアの運営
		6-3	大分駅北口駅前広場班	大分駅北口駅前広場の運営
		6-4	祝祭の広場班	祝祭の広場の運営
		6-5	駐車場班	関係者等駐車場の管理運営
7	関連行事部 (佐伯会場)	7-1	総務・会場案内班	会場内の総括管理、総合案内
		7-2	会場管理班	行事の運営管理
8	関連行事部 (中津会場)	8-1	総務・会場案内班	会場内の総括管理、総合案内
		8-2	会場管理班	行事の運営管理
9	宿泊・輸送部	9-1	式典行事輸送班	式典会場の輸送総括、駐車場管理、弁当引換・回収
		9-2	海上歓迎・放流行事輸送班	海上歓迎・放流会場の輸送総括、駐車場管理、弁当引換・回収
		9-3	受付・添乗班	受付・添乗の総括管理、指定宿泊施設及び集合地での受付・バス添乗

基本的な考え方

- (1) 大会の開催趣旨を踏まえ、県内外から水産関係者をはじめ様々な分野から幅広く招待します。
- (2) 招待者は、原則として、式典行事または海上歓迎・放流行事のいずれかに参加します。

招待者内訳

招待者は、次のとおりとします。

内訳	招待者
県外招待者	国関係者（農林水産省、環境省、水産庁等） 豊かな海づくり大会推進委員会関係者 水産関係中央団体関係者 功績団体表彰受賞者 次期開催県（三重県）関係者 各都道府県関係者 等
県内招待者	県選出国會議員 大分県議會議員、開催市議會議員 水産団体関係者 功績団体表彰・作品コンクール表彰受賞者 市町村関係者 開催市関係者 大分県関係者、大分県実行委員会委員 等

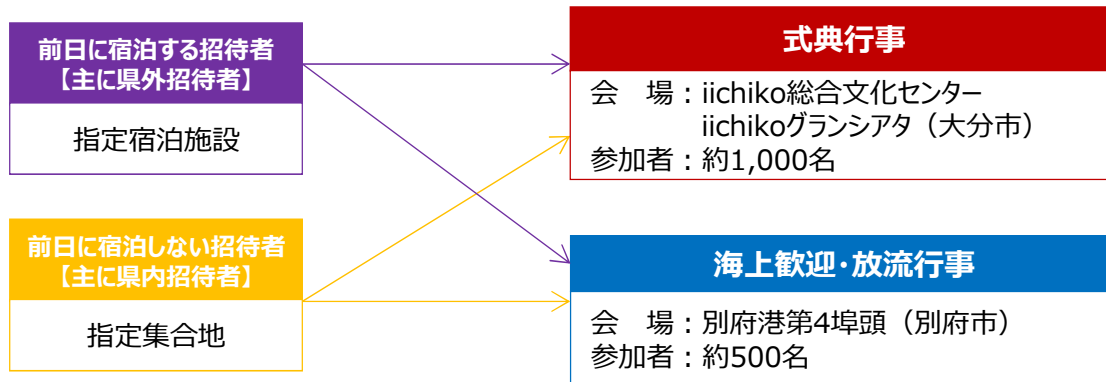
招待者数

招待者数は約1,500名とします。

区分	招待者数 内訳		合計
	県外招待者	県内招待者	
式典行事	700名	300名	1,000名
海上歓迎・放流行事	300名	200名	500名
合計	1,000名	500名	1,500名

招待者の行事参加計画

招待者は、原則として、式典行事または海上歓迎・放流行事のいずれかに参加します。



招待者の受付場所と内容

区分 \ 受付の種類	前日受付	1次受付	2次受付
前日に宿泊する招待者 （主に県外招待者）	指定宿泊施設 〔本人確認・資料等の配布 翌日の連絡事項〕	指定宿泊施設 〔本人確認・リストバンド装着、 IDカードの交付、バス乗車誘導〕	行事会場※ 〔本人確認、手荷物検査〕
前日に宿泊しない招待者 （主に県内招待者）	—	指定集合地 〔本人確認・リストバンド装着、 IDカードの交付、バス乗車誘導〕	行事会場※ 〔本人確認、手荷物検査〕

※関連行事を除く

招待者等の識別

招待者を円滑に案内・誘導するために、胸花、IDカード、リストバンドにより区分します。

区分	式典行事			海上歓迎・放流行事	
	来賓 主催者	発表者 受賞者	招待者	来賓 主催者	招待者
胸花	○	○	—	○	—
IDカード	—	○	○	—	○
リストバンド	—	○	○	—	○

招待者情報の管理

大会を円滑に運営するために得た招待者の個人情報については、個人情報保護に関する関係法令を遵守し、個人情報への不正アクセス、紛失、漏えい等の防止措置を講じるなど、適正な管理を行います。

招待者へのおもてなし

(1) 歓迎のおもてなし

空港やJR駅などでの歓迎表示や、大分らしい心のこもったホスピタリティで招待者をお迎えします。



歓迎表示（北海道釧路空港の例） *写真提供：北海道

(2) 会場でのおもてなし

幅広い本県の食の魅力を伝えるため、県内各地の特産物をはじめとした、本県の農林水産物をふんだんに盛り込んだ大会記念弁当を提供します。

式典行事会場及び海上歓迎・放流行事会場では飲み物のサービスを行います。関連行事会場では、本県の水産物と、その加工品などの販売等を行います。



大会記念弁当イメージ



レシピ考案者

Otto e Sette Oita(オト I セツ大分)
オーナーシェフ 梯 哲哉(かけはしてつや)氏

(3) エクスカーション（視察旅行）の企画

大分の自然・歴史・水産物をはじめとした「食」など、「おんせん県おおいた」の魅力を実感していただくため、招待者向けのエクスカーションを企画します。

(4) 大会記念品の提供

招待者には大分県ならではの心に残る大会記念品を提供します。



記念品（北海道例）

*写真提供：北海道

基本的な考え方

県外招待者をはじめ宿泊の手配が必要な方々のため、次の点に留意し、宿泊施設を確保します。

- (1) 宿泊基準に基づき、大分市または別府市内の宿泊施設を中心に配宿します。
- (2) 宿泊料金については、宿泊施設の内容を勘案し、段階別の料金区分を設定し、宿泊者が選択できるようにします。

宿泊予定人数

	県外招待者	県内招待者
大会前日 11月9日(土)	約1,000名	若干名
大会当日 11月10日(日)	約200名	—

指定宿泊施設での受付

配宿を行った各宿泊施設に実施本部員を配置して、宿泊する招待者の前日受付業務及び行事当日における1次受付業務及び出発確認を行います。

また、各宿泊施設から式典行事会場及び海上歓迎・放流行事会場へは、実施本部員がバスに添乗するなど、招待者の円滑な案内に努めます。

宿泊者管理

大会参加申込をもとに、宿泊施設別に宿泊者名簿を作成します。

また、宿泊者の中から傷病者が発生した場合など緊急時には、宿泊施設を通じて関係機関への連絡、手配を行います。

大会資料等の配布

大会資料等、宿泊する招待者への配布物（大会資料、観光パンフレット、記念品等）については、各宿泊施設へ事前に配送し、各宿泊施設で配布します。

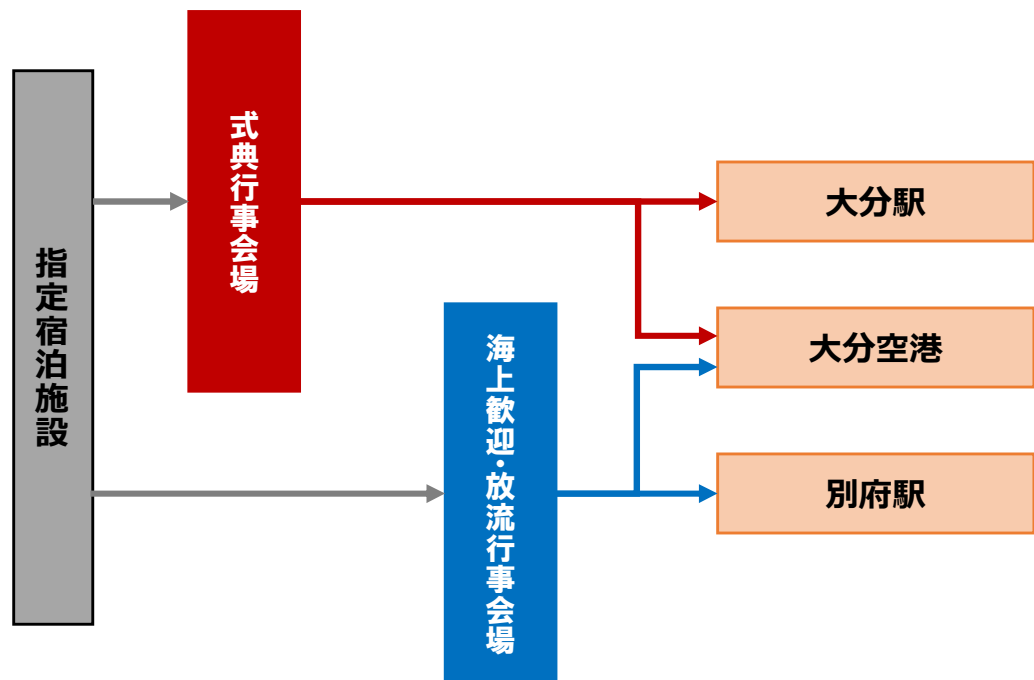
基本的な考え方

輸送計画に基づき、招待者をはじめ、大会参加者の安全かつ円滑な輸送を実施します。

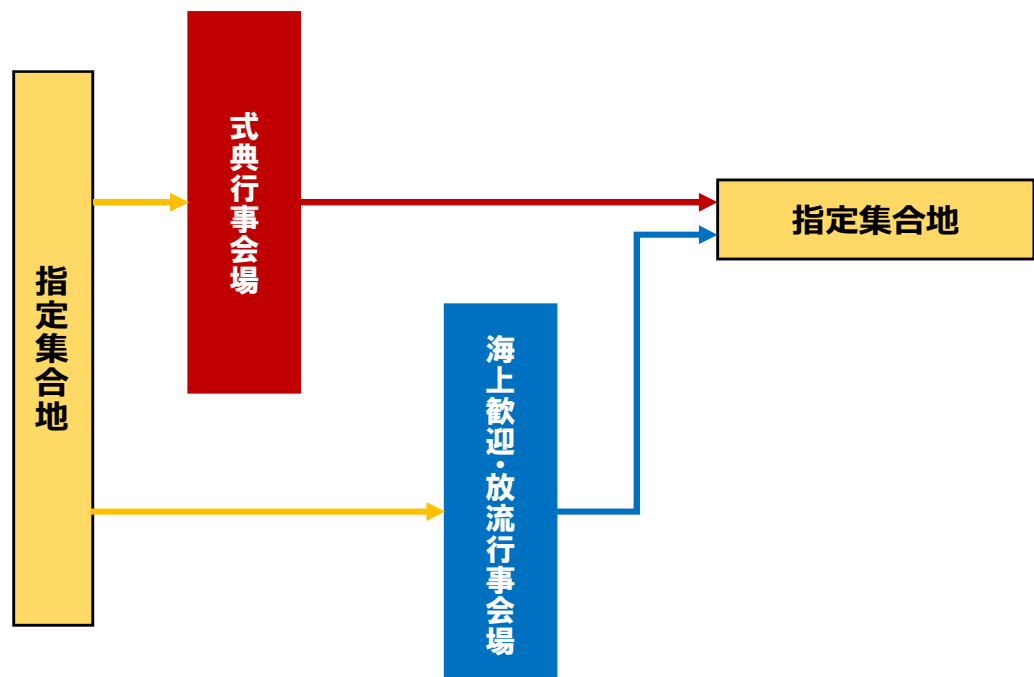
- (1) 指定宿泊施設・指定集合地まで及び指定場所での解散後の輸送は、招待者等が手配するものとします。
- (2) 大会当日の主な県内輸送は、招待者と出演者等を対象に指定宿泊施設及び指定集合地と行事会場間で計画輸送バスを運行します。

【輸送体系図】

◇前日に宿泊する招待者（主に県外者）の輸送体系



◇前日に宿泊しない招待者（主に県内）の輸送体系



基本的な考え方

輸送基本方針及び輸送計画に基づき、大会会場の規模や会場周辺の交通渋滞緩和を考慮し、必要な駐車場を確保します。

- (1) 県内招待者については、会場近隣に駐車場（指定集合地）を確保するとともに招待者バスを運行（パーク アンド バスライド）することにより、会場への円滑な誘導を図ります。
- (2) 出演者や出展者、報道関係者などの大会関係者については、搬入・搬出車両等のための必要な駐車場を確保します。

駐車場所一覧

駐車場所	対象者	参加行事
大友氏遺跡多目的広場 (指定集合地)	前日に宿泊しない招待者等	式典行事
大分城址公園	大会関係者、輸送バス	式典行事
大分県立美術館地下駐車場	大会関係者	式典行事
亀川漁港 (指定集合地)	前日に宿泊しない招待者 大会関係者	海上歓迎・放流行事
別府市公設地方卸売市場 (指定集合地)	前日に宿泊しない招待者 大会関係者	海上歓迎・放流行事

基本的な考え方

- (1) 来場者の安全確保と会場周辺の交通渋滞緩和のため、地域住民の生活に配慮した必要最小限の交通規制を行います。
- (2) 地元自治体や大分県警などの関係機関と連携して、式典行事会場及び海上歓迎・放流行事会場周辺の交通規制内容や、関連行事会場までの交通アクセスなどについて広報・情報提供等を行い、大会開催中の交通混雑緩和に努めます。

広報・情報提供

- (1) 大分県、大分市、別府市の広報誌やホームページ等を活用し、事前に交通規制内容や駐車場の場所などについて周知徹底を図ります。
- (2) 関係機関と連携し、バス、タクシー、トラック等の物流・輸送事業者へ交通規制の内容を周知します。
- (3) 幹線道路等に交通規制告知看板を掲出し、通行車両に周知を図ります。

基本的な考え方

参加者の傷病に対し、医療機関と連携を図り、迅速な救護活動を行います。

救護所の設置

(1) 救護所の設置場所

式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場、作品御覧会場、歓迎レセプション会場及び関連行事会場に救護所を設置します。

(2) 医療関係者の配置

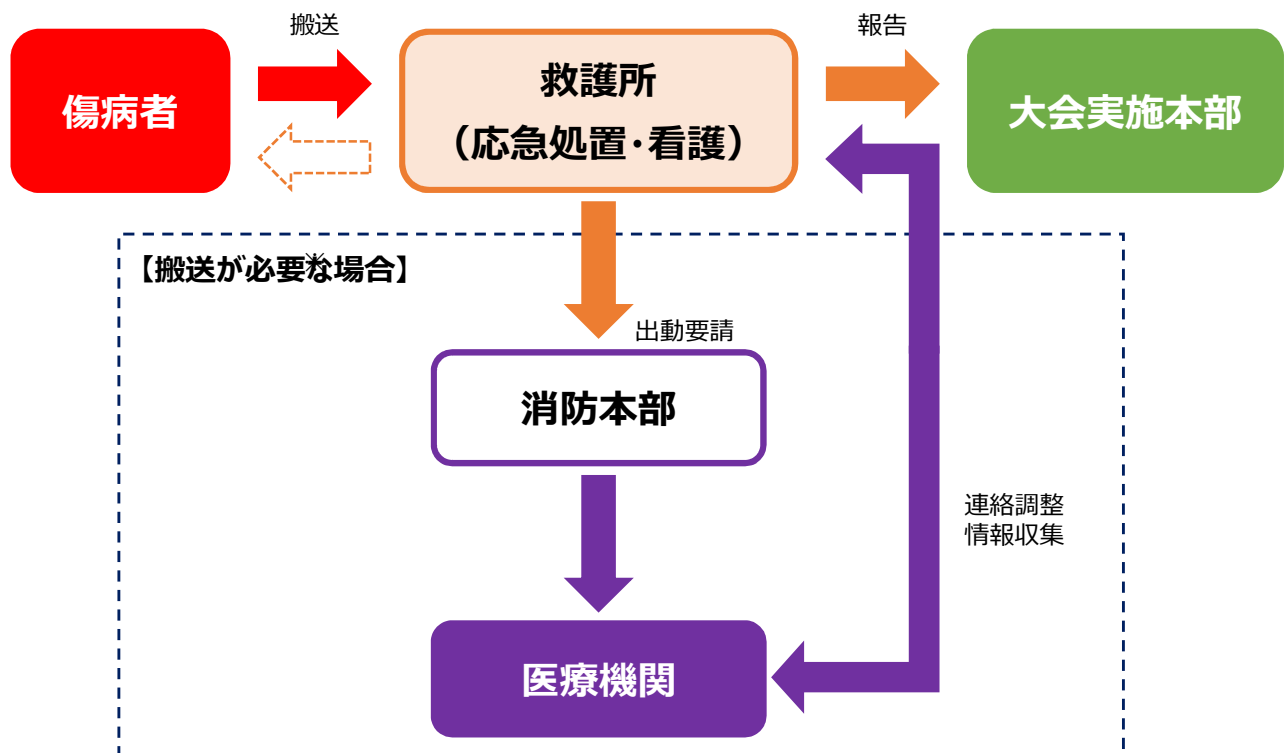
関係機関等の協力を得て、医療関係者を配置します。

(3) 業務内容

- ア 応急処置及び看護
- イ 病院への搬送指示
- ウ 救護記録等
- エ 病院との連絡調整及び傷病者の情報収集

医療・救護体制

〈各会場の体制〉



※傷病者を動かすことができない場合は、救護所から医療関係者を傷病者の元へ向かわせませす。

基本的な考え方

- (1) 来場される全ての方におもてなしの心をもって、温かくお迎えます。
- (2) 各会場内外において、来場者の案内、問い合わせ等に対応します。
- (3) 身体の不自由な方や高齢者への配慮とともに、環境への負荷を軽減し、「人と環境にやさしい」運営を行います。

会場内のサービス

項目	対応方法
案内	案内スタッフが、来場者からの問い合わせ等に丁寧に対応します。
放送	催し物の案内、迷子のお知らせ、緊急時の避難誘導等を必要に応じて実施します。
落とし物・迷子	案内所での対応を基本としますが、すべてのスタッフが窓口となり対応します。
救護	救護所を設置し、ケガ人や気分の悪い方に備えて医療関係者を配置します。
車椅子	傷病者や身体の不自由な方の来場に備え、車椅子を準備します。
トイレ	既存の施設を活用するとともに、必要に応じて仮設トイレを設置します。
ゴミ回収	リサイクル促進のため、分別回収用のゴミ箱を設置します。
湯茶	会場内に湯茶コーナーを設置します。
喫煙	所定の喫煙場所をご案内します。

サイン計画

(1) 案内看板

来場者がスムーズに移動できるよう、必要な案内看板を設置します。

(2) 装飾

式典行事会場並びに海上歓迎・放流行事会場の周辺には、花のプランター等を設置し、会場装飾を兼ねた案内誘導に努めます。

基本的な考え方

式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場、関連行事会場及びサテライト会場等において、一体感のある演出を行うため、大型映像装置等を活用した映像放映及び映像中継を行います。

■ 式典行事会場 [iichiko総合文化センター-iichikoグランシアタ (大分市)]

式典行事会場に大型映像装置を設置し、式典の演出や進行の放映を行います。

■ 海上歓迎・放流行事会場 [別府港第4埠頭 (別府市)]

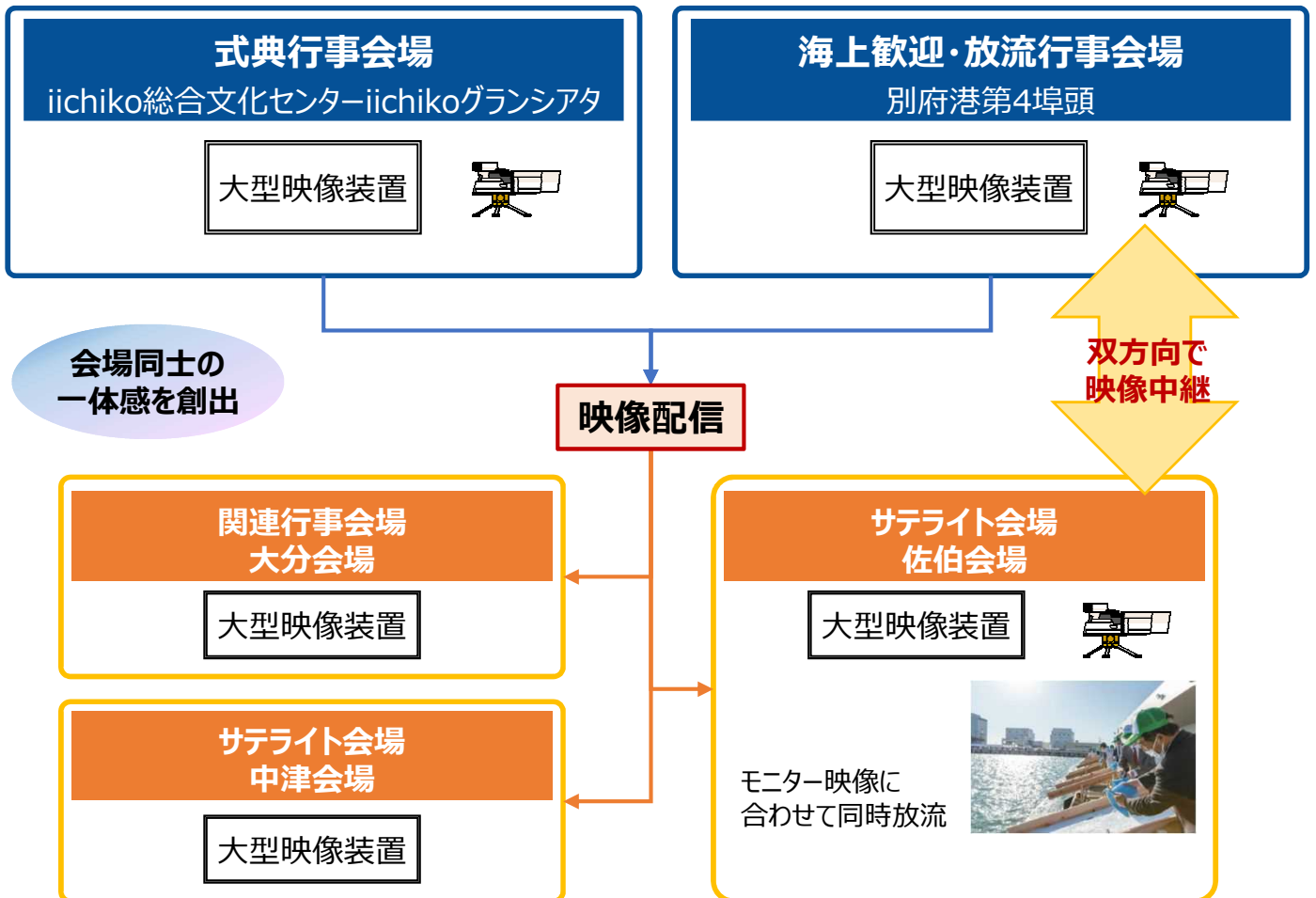
漁船等によるパレードや、天皇皇后両陛下の御放流の様子などの映像放映を行います。佐伯会場との同時放流の模様を中継します。

■ 関連行事会場

- ・豊かな海づくりフェスタ (仮称) 会場 [大分市 (祝祭の広場、大分駅北口駅前広場)]
- ・サテライト会場 [佐伯市 (松浦漁港)、中津市 (小祝漁港)]

来場者に大会の模様をご覧いただけるように、式典行事及び海上歓迎・放流行事の模様を中継します。佐伯会場では、海上歓迎・放流行事会場と同時放流を行うため、双方向で映像中継を行います。

■ 中継イメージ図



基本的な考え方

- (1) 大会会場の安全と秩序の維持を図るため、式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場及び周辺における禁止行為等を定めた会場運営管理要綱を策定します。
- (2) 会場運営管理要綱の内容を招待状に同封するとともに、会場内に表示して来場者への周知を図ります。
- (3) すべての来場者が、安全かつ安心して大会に参加できるよう、施設の巡回点検により事故の未然防止に努めます。

会場の衛生管理・対策

- (1) 会場に配置する実施本部員が、ごみ収集等の清掃活動を実施するとともに、ごみ収集場の適正な管理を行います。
- (2) 会場で提供される弁当の調製業者に対して、衛生管理に関する事前指導等を実施します。
- (3) 大会会場内に出展（店）する食品取扱者（食品調製者及び食品販売者）に対して、衛生管理に関する事前指導等を実施します。
- (4) 大会会場内の仮設給水施設設置者に対して、衛生管理に関する事前指導等を実施します。

会場警備

会場内に設置した仮設物等の管理保全のため、大会開催前及び開催中は、常駐警備体制をとり、巡回点検します。

通信連絡体制

大会の円滑な運営を図るため、大会期間中は、携帯電話、携帯無線通信等を活用し、大会実施本部の各部門内及び各部門間の通信連絡体制を確立します。

「第43回全国豊かな海づくり大会」会場運営管理要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、令和6年11月9日・10日開催の「第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」(以下「海づくり大会」という)の円滑な運営と秩序の保持を図るため、海づくり大会会場(以下「会場」という)における運営管理に係る必要な事項を定めるものとする。

(運営管理者)

第2条 会場の運営管理者(以下「管理者」という)は、第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会(以下「実行委員会」という)会長とする。

2 管理者の権限に属する業務の処理は、大会実施本部員の職員(以下「職員」という)が行う。

(適用範囲)

第3条 この要綱において適用する会場及びその区域は次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 式典行事会場：iichiko総合文化センターiichikoグランシアタ及びその周辺のうち、管理者が指定する区域
- (2) 海上歓迎・放流行事会場：別府港第4埠頭及びその周辺のうち、管理者が指定する区域
- (3) 絵画・習字作品御覧及び歓迎レセプション会場：会場となる施設及び管理者が指定する区域

(持ち込み禁止物件)

第4条 何人も、会場に次の各号に掲げる物件を持ち込んで서는ならない。ただし、管理者が特に認めたときは、この限りでない。

- (1) 凶器
- (2) 模造刀、玩具銃、護身用具、棒状の物(介護用具を除く)等凶器となり得る物
- (3) 毒物、劇物、爆発物、火薬類、油類、火気(ライターを含む)、薬品類(医薬品を除く。)、工具類その他の危険物
- (4) カッターナイフ、ハサミ等の刃物類
- (5) 水筒、瓶類、缶類(スプレー缶を含む)及びペットボトル類
- (6) 旅行鞆、手提げ鞆等の荷物類
- (7) 傘類
- (8) 動物類(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条に規定する身体障害者補助犬を除く)
- (9) 酒類
- (10) ワイヤレスマイク、ドローン、ラジコン機器(航空機、自動車、船舶等)等電波を送受信する機器、無線通信機器(携帯電話、スマートフォン等の携帯端末(以下「携帯電話等」という。))を除く)
- (11) 拡声器、オーディオ機器、ポータブルゲーム機、楽器、サーチライト、レーザーポインター、反射鏡等、音又は光を発するもので、使用方法により他の入場者や海づくり大会の運営に迷惑となるおそれのある物
- (12) カメラ、ビデオカメラ、三脚等の撮影機器
- (13) 前各号に定めるもののほか、海づくり大会の円滑な運営と秩序の保持を妨げ、又は妨げるおそれのある物

(禁止行為)

第5条 何人も、会場及びその周辺において、次の各号に掲げる行為を行ってはならない。ただし、管理者が特に認めた場合は、この限りでない。

- (1) 招待状又は来場者識別証を携行せずに会場内へ入場すること。
- (2) 許可を受けずに撮影を行うこと(携帯電話等に付属された機能を用いて撮影する場合を含む)。
- (3) 立入を制限し、又は禁止された区域に正当な理由なく立ち入ること。
- (4) ドローン等の飛行物体、ラジコン機器(航空機、自動車、船舶等)を侵入等させること。

- (5) 酒気を帯びて会場内へ入場すること。
- (6) 通行の妨害となる行為をすること。
- (7) 威嚇又は喧噪にわたる行為を行うこと。
- (8) 会場内の施設、工作物、器物、装置等を汚損、若しくは破損し、又はみだりに操作すること。
- (9) 関係者に面会を強要すること又は会場内に居座ること。
- (10) 所定の区域以外において火気を使用（喫煙を含む）又はゴミその他の汚物を廃棄すること。
- (11) 所定の区域以外への車両若しくは船舶等の進入、駐車、停泊又は駐輪をすること。
- (12) 抗議集会、デモ等会場秩序を乱すおそれのある行為をすること。
- (13) 前各号に定めるもののほか、会場の秩序を乱し、海づくり大会の円滑な運営及び進行を妨害するような行為をすること。

（許可を要する行為）

第6条 会場及びその周辺において、次の各号に掲げる行為をしようとする者は、あらかじめ管理者の許可を受けなければならない。ただし、管理者が特に認めた場合はこの限りでない。

- (1) 文書、図面、写真、図書その他の印刷物等を掲示し、頒布又は散布すること。
- (2) 掲示板、立看板、横断幕、懸垂幕、旗、のぼり、アドバルーン、風船、ゼッケン、プラカード等を持ち込み、掲示、掲揚又は着用すること。
- (3) ガスその他これに類似する火気を使用すること。
- (4) 宣伝、勧誘、講演、集会、物品の販売又は寄付の募集その他これらに類する行為をすること。
- (5) テント、小屋その他の工作物を設置すること。

2 管理者は、前項の許可をする場合において、必要な条件を付すことができる。

（遵守事項）

第7条 何人も、会場において次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。ただし、管理者が特に認めた場合はこの限りでない。

- (1) 安全確保のため、手荷物等の検査に応じるとともに、持ち込み禁止物件など携行できない物件は管理者に預けること。
- (2) 管理者が交付した来場者識別証を外部から視認できるように携行するとともに、破損、亡失等の場合は、速やかに職員に申し出て指示を受けること。
- (3) 招待状及び本人確認書類（運転免許証、パスポート、個人番号カード等）を携帯し、会場の警備を行う者が本人確認書類の提示を求めた場合にはこれに応じること。
- (4) 携帯品は管理者が交付した透明袋に入れて携行すること。
- (5) 職員の指示、案内、誘導等に従うこと。
- (6) 指定された場所において観覧すること。ただし、職員等が移動を指示した場合はこれに従うこと。
- (7) 携帯電話等の電源を切るか、マナーモードに設定すること。
- (8) ゴミ処理方法の遵守及び清潔維持に努めること。
- (9) 各自が火災、盗難その他の事故防止に努めること。
- (10) 感染予防対策について、主催者又は管理者等から特別の要請を出す場合には、これに従うこと。

（質問等）

第8条 管理者が必要と認める場合は、来場者等に対して質問をし、本人確認書類の提示を求め、又は必要な事項を指示することができる。

（入場の制限）

第9条 管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、会場への入場の拒否、行為の中止、会場からの退場、その者の負担による持ち物の撤去及びその他必要と認められる措置を命じ、又は管理者の許可なく侵入、放置等された物件に対し必要な措置を講じることができる。

- (1) 第4条の各号に掲げる禁止物件を持ち込んだ者若しくは持ち込もうとする者、又は当該物件
- (2) 第5条の各号に掲げる行為を行った者若しくは行うおそれのある者、又は当該物件
- (3) 許可なく第6条第1項の各号に掲げる行為を行った者若しくは行うおそれのある者、又は当該物件
- (4) 正当な理由なく、第7条の各号に掲げる事項を遵守しない者
(警備要請)

第10条 管理者は、大分県警察本部長及び第七管区海上保安本部長に対し、事前に警備要請を行うものとし、必要があると認める場合、職員は会場に配置されている警察官及び海上保安官に協力を求めることができる。

(告知)

第11条 管理者は、第4条から第9条までの内容について、会場に告知板を設置する方法等により、告知するものとする。

(雑則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、会場の運営管理に関し必要な事項は、管理者が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和6年 月 日から施行する。
- 2 この要綱の適用期間は、令和6年11月9日から同月10日までとする。

基本的な考え方

荒天時や地震、突発事案等の非常事態に迅速・適切に対応するため、大会開催の可否等について判定する会議（以下「判定会議」という。）を開催します。

業務内容

荒天や、地震・津波、火災その他突発的事案等の関係情報について収集整理を行い、大会行事の実施の可否等を協議し、その結果を豊かな海づくり大会推進委員会会長及び大分県実行委員会会長に報告し、了承を得ます。

ただし、急を要する場合は、会議を開催せずに議長の判断により避難指示等を行います。

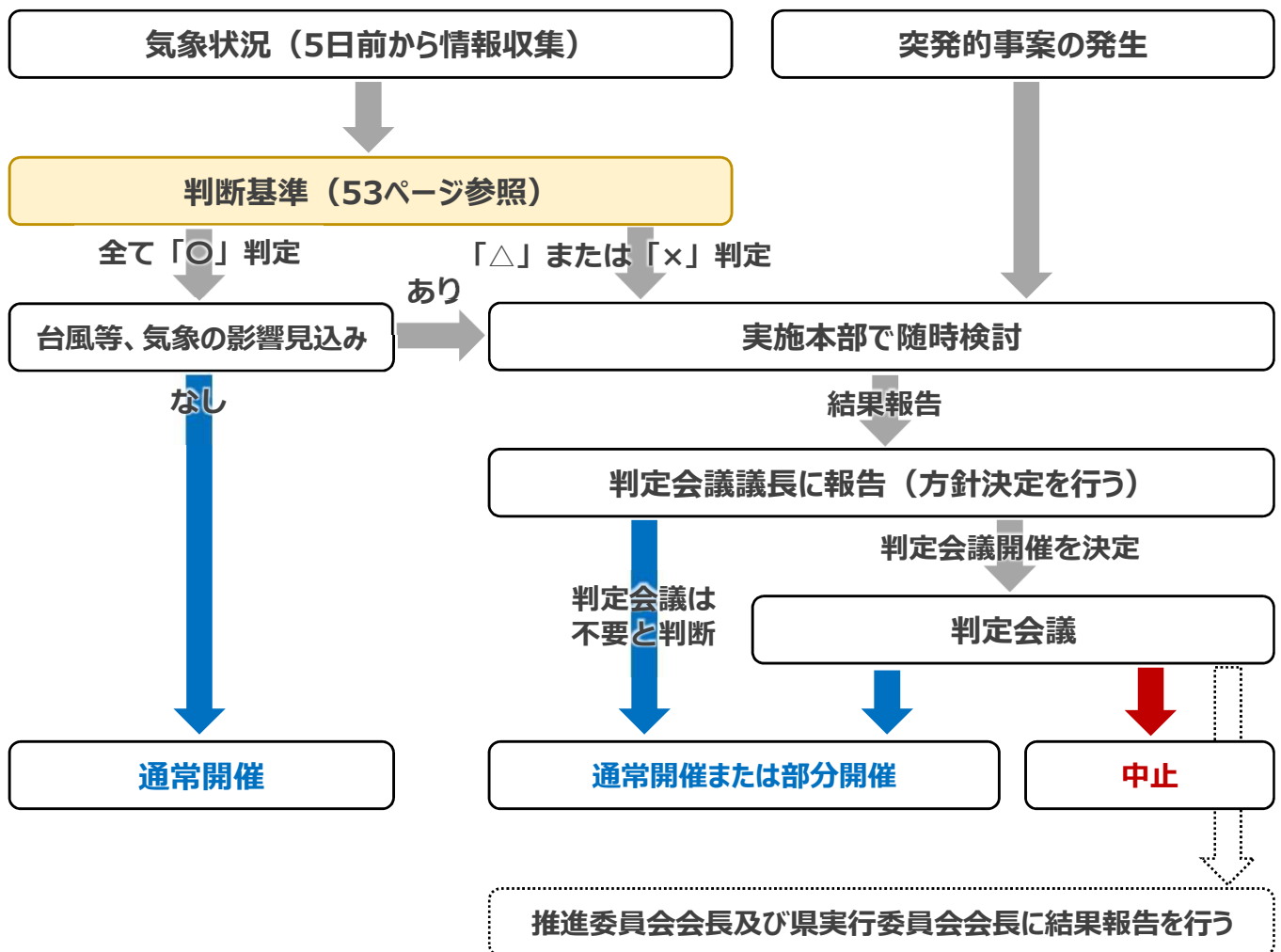
判定会議の構成員（予定）

議長	大分県副知事
副議長	大分県農林水産部長
委員	豊かな海づくり大会推進委員会事務局長 大分県漁業協同組合専務理事 大分市農林水産部長 別府市観光・産業部長 大分県総務部知事室長 大分県農林水産部全国豊かな海づくり大会推進室長

判定会議の招集

判定会議は、協議が必要な場合のみ開催することとし、各委員は電話やWEB会議システム等の方法による参加もできるものとします。

判定会議の流れ



大会中止時の周知

大会行事を中止する場合は、連絡網により招待者、指定宿泊施設、関係機関、実施本部員に速やかに伝達し、決定内容に基づき対応します。

また、ホームページ等を活用し、県民等に広くお知らせします。

■ 大会公式ホームページ

<https://yutakana-umidukuri.pref.oita.jp/>

■ テレビ・マスコミを通じた周知

大会行事が中止となった場合には、県内各報道機関へ一斉にFAX・電話等でお知らせします。

判定会議のための情報収集（風雨関係）

収集する情報	現況・予測	情報収集先	補助説明
雨量 (mm/h)	現況	アメダスレーダー（気象庁HP）	1時間毎のデータ
		解析雨量（気象庁HP）	30分毎の降水量分布
		時間雨量（大分県 雨量・水位観測情報）	1時間毎のデータ
	予測	レーダーナウキャスト（気象庁HP）	1時間先までの5分毎降水強度分布予測 及び雷、竜巻予測
		高解像度降水ナウキャスト（気象庁HP）	1時間先までの5分毎降水強度分布予測
		降水短時間予報（気象庁HP）	6時間先までの1時間毎降水量分布
		大分県の防災情報（大分地方気象台HP）	5時、11時、17時更新
風速 (m/sec)	現況	アメダスレーダー（気象庁HP）	1時間毎のデータ
	予測	地域時系列予報（気象庁HP）	5時、11時、17時更新
		大分県の防災情報（大分地方気象台HP）	5時、11時、17時更新
波高 (m)	現況	波浪実況・予想図（気象庁HP）	12時間毎のデータ（9時、21時）
	予測	海上分布予報（気象庁HP）	6時頃、12時頃、18時頃、24時頃更新
		波浪予報（国際気象海洋（株））	72時間後までの波浪予測、6時間更新
		大分県の防災情報（大分地方気象台HP）	5時、11時、17時更新
視程 (m)	現況	大分海上保安部など	目視による調査、予測
	予測	海上分布予報（気象庁HP）	6時頃、12時頃、18時頃、24時頃更新

※各情報収集先のURL・電話番号等

- 気象庁HP <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 大分県雨量・水位観測情報 <https://river.pref.oita.jp/index.html>
- 波浪予報（国際気象海洋（株）） <https://www.imocwx.com/cwm.php>
- 大分地方気象台 <https://www.jma-net.go.jp/oita/index.html>
097-532-2247
- 大分海上保安部 097-521-0112

風雨の情報による判断基準

【○：実施 / △：必要に応じて判断 / ×：中止】

気象条件		式典行事	海上歓迎行事		放流行事	関連行事
			漁法紹介	漁船団		
雨量 (mm/h)	20未満		○	○	○	○
	20以上～30未満		○	△	△	△
	30以上～50未満	大雨注意報相当	○	△	△	△
	50以上	大雨警報相当	△	×	×	×
風速 (m/sec)	8未満		○	○	○	○
	8以上～12未満		○	○	△	○
	12以上～20未満	強風注意報	○	△	△	△
	20以上	暴風警報	○	×	×	×
波高 (m)	1.5未満		-	○	○	-
	1.5以上～3.0未満	波浪注意報	-	△	△	-
	3.0以上	波浪警報	-	×	×	-
視程 (m)	1,000以上		-	○	○	-
	1,000未満		-	△	△	-

※行事ごとに最も悪条件となっている気象状況を判断基準とします。

※「波高」及び「視程」の気象条件は、海上歓迎行事にのみ適用します。

※ 第37回大会（平成29年）では、平均風速16m/secで、海上歓迎・放流行事が中止されました。

基本的な考え方

- (1) 荒天により海上歓迎行事の実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画(A)-①又は(A)-②に変更し、行事を実施します。
- (2) また、放流行事及び関連行事の一部又は、全ての実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画(B)又は(C)に変更し、行事を実施します。
- (3) さらに、暴風雨などの荒天時や、地震等による災害が発生した場合には、すべての行事を中止します。

荒天時計画 (A) - ①

行事名		内容
式典行事		計画どおり実施
海上歓迎行事	漁法紹介パレード	計画どおり実施
	漁船団パレード	中止
放流行事		計画どおり実施
関連行事		計画どおり実施

荒天時計画 (A) - ②

行事名		内容
式典行事		計画どおり実施
海上歓迎行事	漁法紹介パレード	中止
	漁船団パレード	中止
放流行事		計画どおり実施
関連行事		計画どおり実施

荒天時計画 (B)

行事名		内容
式典行事		計画どおり実施
海上歓迎行事	漁法紹介パレード	中止
	漁船団パレード	中止
放流行事		中止
関連行事		計画どおり実施

荒天時計画 (C)

行事名		内容
式典行事		計画どおり実施
海上歓迎行事	漁法紹介パレード	中止
	漁船団パレード	中止
放流行事		中止
関連行事		中止



第4章

機運醸成計画

基本的な考え方

単なる「大会の周知」ではなく、大会の基本方針（4つの柱）をそれぞれ具現化した取組となるようにします。また、以下の取組に漁業者が積極的に参画することで、漁業者自身のやる気も喚起し、今後の水産振興につなげます。

活動内容

（1）100日前イベント

大会100日前を契機とした県民向け機運醸成イベントを実施する。

・実施日 令和6年8月2日（金）

（2）つなぐバトンプロジェクト

リレー放流等に参加した小学生などが書いた「豊かな海づくりに向けたメッセージカード」をつなぎ合わせてアート作品を制作するプロジェクトを実施する。完成した作品は、大会当日に展示する。

（3）海浜清掃

（公財）海と渚環境美化・油濁対策機構との共催による海浜清掃を実施する。

（4）森・川・海つながり実感！プロジェクト

森・川・海それぞれのつながりを理解するための小学生向け体験プログラムを実施する。

（5）リレー放流・水産教室

小学生等に対して、地元の水産業などへの関心を高めることを目的に、水産関係者等を講師とした水産教室や稚魚の放流を実施する。

（6）大会PR隊

県内各地で行われる水産関連イベントなどの機会を利用し、子ども向けゲームの実施やPRグッズ配布などを行う。

（7）企業・団体からの協賛（協賛金・協賛行事）募集

大会の成功に向けて、基本理念に賛同する企業等から協賛金（物品含む）を募集するとともに、大会の周知や機運醸成を図ることを目的に、イベントや清掃活動、水産物消費に関する行事などの活動を協賛行事として募集する。

【協賛金】

- ・募集期間 令和5年7月～令和6年7月末まで
- ・使 途 PR経費、プラゴミ等清掃活動費、会場整備費 など
- ・特 典 ロゴマーク等の使用、大会公式HPやSNS（インスタグラム）への掲載、式典への招待、大会記念誌等への掲載 等 ※協賛金額に応じた特典とする

【協賛行事】

- ・募集期間 令和5年7月～令和6年12月まで
- ・特 典 ロゴマーク等の使用、大会横断幕等の貸し出しやノベルティグッズの配布 等

基本的な考え方

大会テーマ、ロゴマーク及びキャラクターなどを活用しながら、大会関連情報について各種媒体を通じて積極的かつ効果的な広報活動を実施します。

活動内容

(1) 大会テーマ、ロゴマーク及びキャラクター等を活用したPR

大会ロゴマーク等を使用したPRグッズの製作・配布、公式ポスターをはじめとする各種広告物を製作・設置するなど、広報活動を展開します。

(2) 多様なメディアを活用した情報発信

各報道機関への情報提供や県政情報番組（テレビ、ラジオ）等を活用し、大会に関する情報を発信します。また、公式HPやSNS（インスタグラム）、駅・空港・市町村庁舎等のデジタルサイネージを積極的に活用するなど、効果的な媒体・手法により情報発信を行います。

(3) 映像や印刷物、屋外広告物による広報

大会のPR動画やポスター・チラシの作成・配布、行政広報誌等の活用、横断幕の設置による広報活動を展開します。

(4) シティドレッシング

大会前に公共施設や街なかの装飾を増やすことで、県内の大会開催機運を高めるとともに、全国からの招待者に対する“おもてなし”を表現します。

(5) 大会記念誌等の制作

開催までの取組や大会当日の様様を記録し、大会記念誌及び記念映像を制作します。

基本的な考え方

次世代を担う児童・生徒に大会の開催意義や海・川の恵み、環境保全の大切さを広く理解してもらうために作品コンクール（作文・絵画・習字）を実施します。

実施概要

(1) 作文コンクール

ア 主催

豊かな海づくり大会推進委員会
第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会

イ 募集期間

令和6年4月1日（月）～5月31日（金）

ウ 募集対象者及び募集部門

- 対象：大分県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校（小学部、中学部、高等部）の児童、生徒
- 部門：小学校低学年の部（1年生～3年生）、小学校高学年の部（4年生～6年生）、中学校の部（全学年）、高等学校の部（全学年）

エ 題材

「海」「川」「森」「水産業」に関するもの。（海・川・森での体験や思い出、海・川の幸や水産業について思うこと、豊かな海を次世代に引き継いでいくためにできることなど）

オ 入賞等

- 入賞：大会会長賞、農林水産大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、大分県知事賞（募集部門ごとに各賞1点）
- 入選：最終審査の対象作品のうち、入賞作品以外の作品
- 表彰：入賞者は「第43回全国豊かな海づくり大会」の式典行事で表彰します。
- 発表：大会会長賞受賞作品のうち1作品については、式典行事において受賞者本人が朗読することとします。

カ 応募方法

学校単位で、第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会へ応募するものとします。



募集チラシイメージ

(2) 絵画・習字コンクール

ア 主催

第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会

イ 募集期間

令和6年4月1日（月）～5月31日（金）

ウ 募集対象者及び募集部門

- 対象：大分県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程に限る。）及び特別支援学校（小学部、中学部）の児童、生徒
- 部門：小学校低学年の部（1年生～3年生）、小学校高学年（4年生～6年生）、中学校の部（全学年）

エ 題材

- 絵画：「海」、「川」、「森」、「水産業」に関するもの。（海・川・森での体験や思い出、海・川の幸や水産業について思うこと、豊かな海を次世代に引き継いでいくためにできることなど）
- 習字：大会の開催目的や基本理念を考慮し、以下の題字とします。
 - ・ 小学校低学年の部（1年生～3年生） … 「うみ」
 - ・ 小学校高学年の部（4年生～6年生） … 「豊かな海」
 - ・ 中学校の部（全学年） … 「海の恩恵」

オ 入賞等

- 入賞：大分県知事賞、大分県教育委員会教育長賞、大分県漁業協同組合代表理事組合長賞（募集部門ごとに各賞1点）
- 入選：募集部門ごとに3点以内
- 表彰：入賞者は「第43回全国豊かな海づくり大会」の式典行事で表彰します。

カ 応募方法

学校単位で、第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会へ応募するものとします。

4. スケジュール

第4章 機運醸成計画

年度	月	大会開催計画	機運醸成（イベント等）	機運醸成（広報）	
令和5年度	2月				
	3月	実行委員会総会 （大会計画決定）	リレー放流・水産教室、大会PR隊・つなぐバトンプロジェクト		
令和6年度	4月		協賛行事募集	コンクール作品募集 （作文・絵画・習字）	
	5月		協賛金（物品含）募集		
	6月	大会実施本部設置			
	7月	大会実施準備・関係機関調整			
	8月		100日前イベント	森・川・海つながり実感プロジェクト	
	9月	2ヶ月前リハーサル			
	10月	前日リハーサル			
	11月	第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～			
	12月				
	1月				
	2月				
	3月	実行委員会総会 （解散総会）		大会記念誌 記録映像制作	

大会ホームページ、公式インスタグラム、各種メディアを活用した広報



**第43回全国豊かな海づくり大会大分県実行委員会
(事務局:大分県農林水産部全国豊かな海づくり大会推進室)**

〒870-8501 大分県大分市大手町3-1-1
TEL : 097-506-3927 FAX : 097-506-1803
E-mail : yutakanaumi@pref.oita.lg.jp
URL : <https://yutakana-umidukuri.pref.oita.jp/>